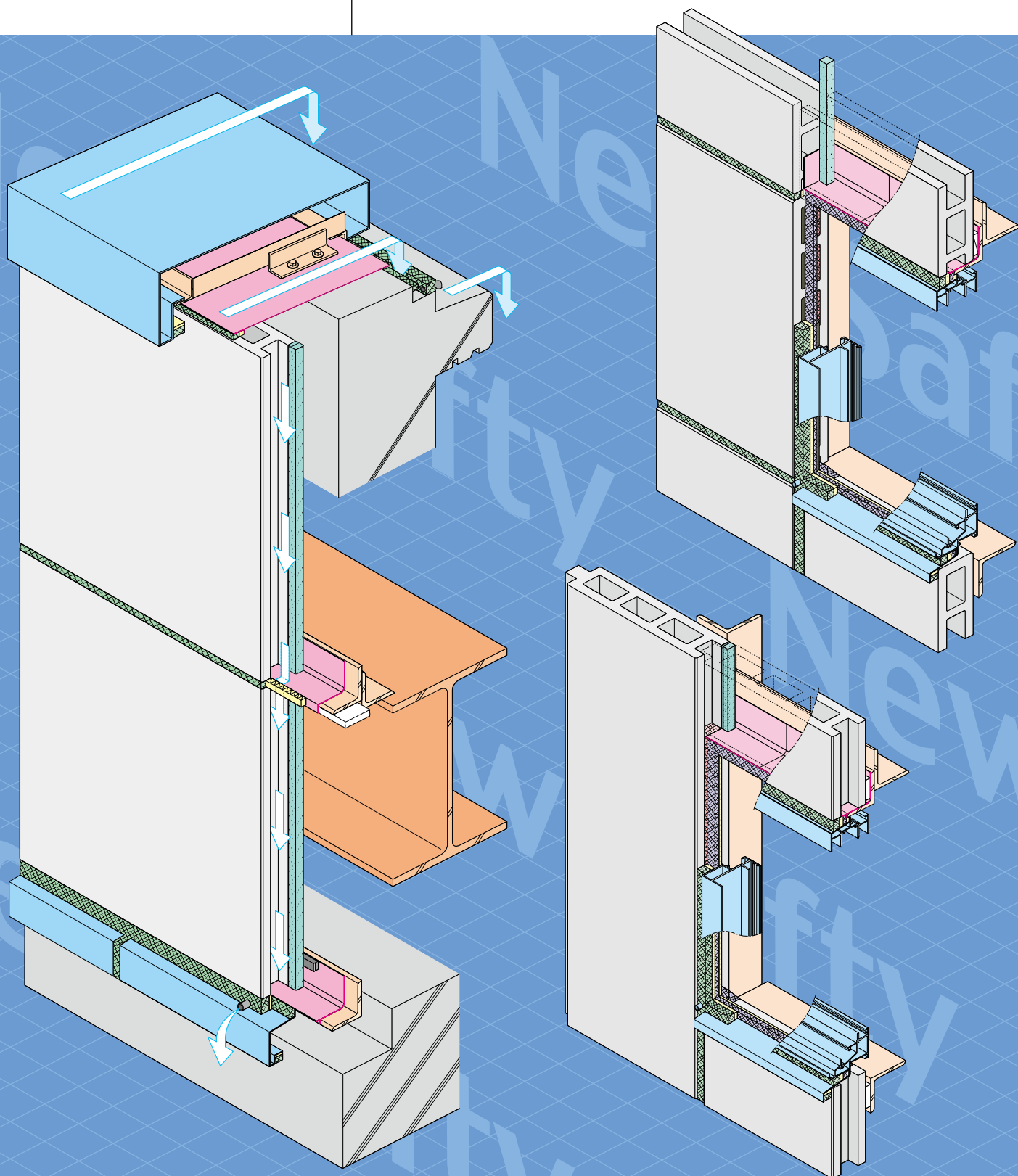


ASLOC
Neo

ニューセフティ工法



不燃建材のリーダー
株式会社 **ノサワ**

ニューセフティ工法の概要と種類

ニューセフティ工法は、表面シーリング材の劣化等により欠損が生じた場合に、シーリング材のメンテナンス時期までの間、雨水を建物内部に侵入させない2次防水工法です。

 縦張り工法は、アスロック横目地部分に、透水材を一体化させた内水切を使用し、縦目地部分に特殊ウレタンガasketを使用した工法です。

 横張り工法は、アスロック縦目地部分に後挿入型特殊ウレタンガasketを使用し、横目地部分の特殊ウレタンガasketと連結した工法です。(2018年5月に仕様改訂しました。)

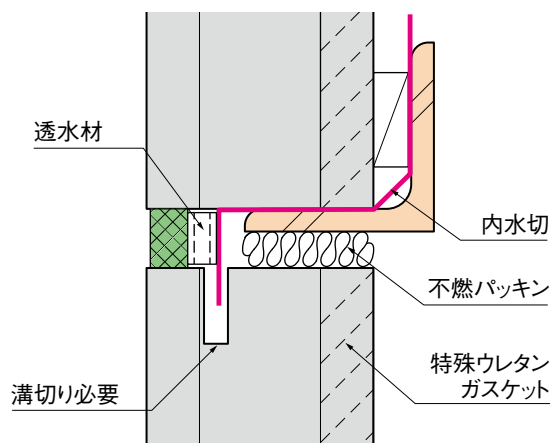
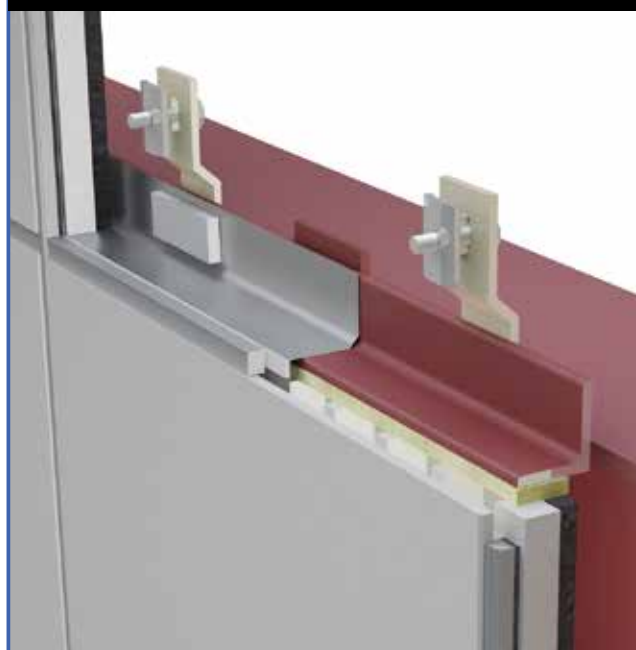
両工法とも、工場ガasket貼りを可能にしました。なお、この工法は、水密性能を確認した工法で、気密性能まで確認していません。

ニューセフティ工法の水密性能を、動画でご確認ください。

<http://youtu.be/NEseo5dCrBQ>



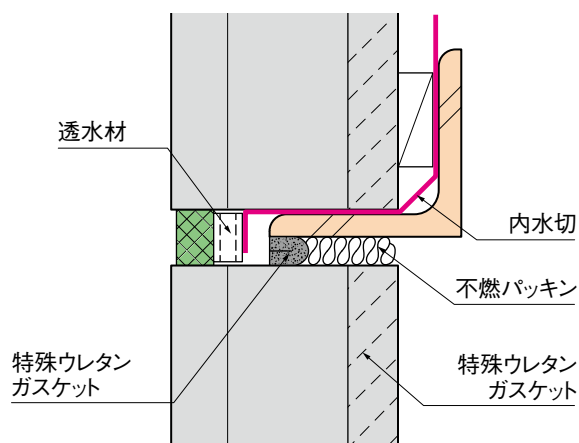
ニューセフティ縦張り標準工法



工 法 概 要		内水切の先端をアスロック小口スリットに差し込む従来工法です。施工実績が豊富で、「建築工事監理指針」でも、二次的漏水対策として紹介されています。	
適用建物高さ		原則45m以下（外足場が建つ高さまで）	
足場の必要性		外足場必要・内足場必要	
耐 震 性 能		ロッキング方式（支持点：パネル両端部） [1/300] 健全で再使用可能（理論値・試験値） [1/100] 破損・脱落なし（理論値・試験値）	
水 密 性 能		平均2250Pa（最大3000Pa）漏水なし（実験値）	
対応パネル		60mm厚品、75mm厚品	
副資材	金 物	Rクリップ+NVナット（推奨） HZクリップ+NVナット（推奨） Zクリップ+NVナット（推奨）	Rクリップ標準セット W型Zクリップ標準セット Zクリップ標準セット
	2次シーリング	特殊ウレタンガスケット	
工場プレ加工		縦ガスケット工場張り可能	
作 業 環 境		縦ガスケット工場張りで、剥離紙ゴミを軽減する。	

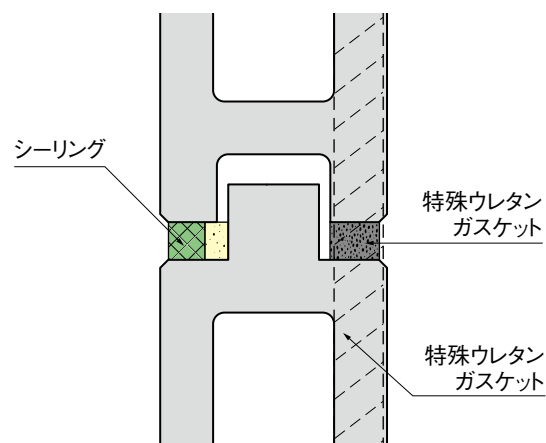
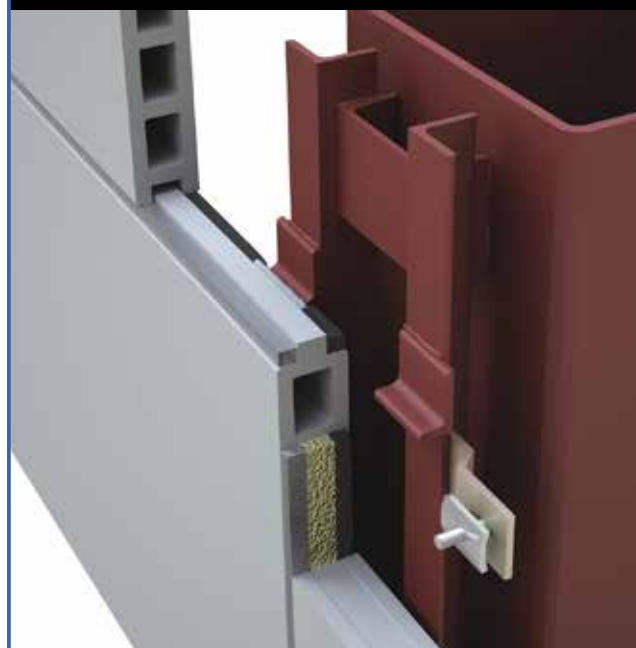
2018年4月より、横張り工法の工場ガasket貼りに対応するため、仕様を一部変更しました。

ニューセフティ縦張りノンスリット工法



工 法 概 要		内水切用のアスロック小口スリットが不要な工法です。 アスロックと下地アングルの間に特殊ウレタンガスケットを 挿入することで、標準工法同様の止水効果があります。	
適用建物高さ		原則45m以下（外足場が建つ高さまで）	
足場の必要性		外足場必要・内足場必要	
耐 震 性 能		ロッキング方式（支持点：パネル両端部）	
		[1/300] 健全で再使用可能（理論値） [1/100] ※試験実施予定	
水 密 性 能		平均2250Pa（最大3000Pa）漏水なし（実験値）	
対 応 パネル		60mm厚品	
副 資 材	金 物	Rクリップ+NV ナット（推奨） HZクリップ+NV ナット（推奨） Zクリップ+NV ナット（推奨）	Rクリップ標準セット W型Zクリップ標準セット Zクリップ標準セット
	2次シール	特殊ウレタンガスケット	
工場プレ加工		縦ガスケット工場張り可能	
作 業 環 境		スリット加工による粉塵が発生しない。 縦ガスケット工場張りで、剥離紙ゴミを軽減する。	

ニューセフティ横張り標準工法

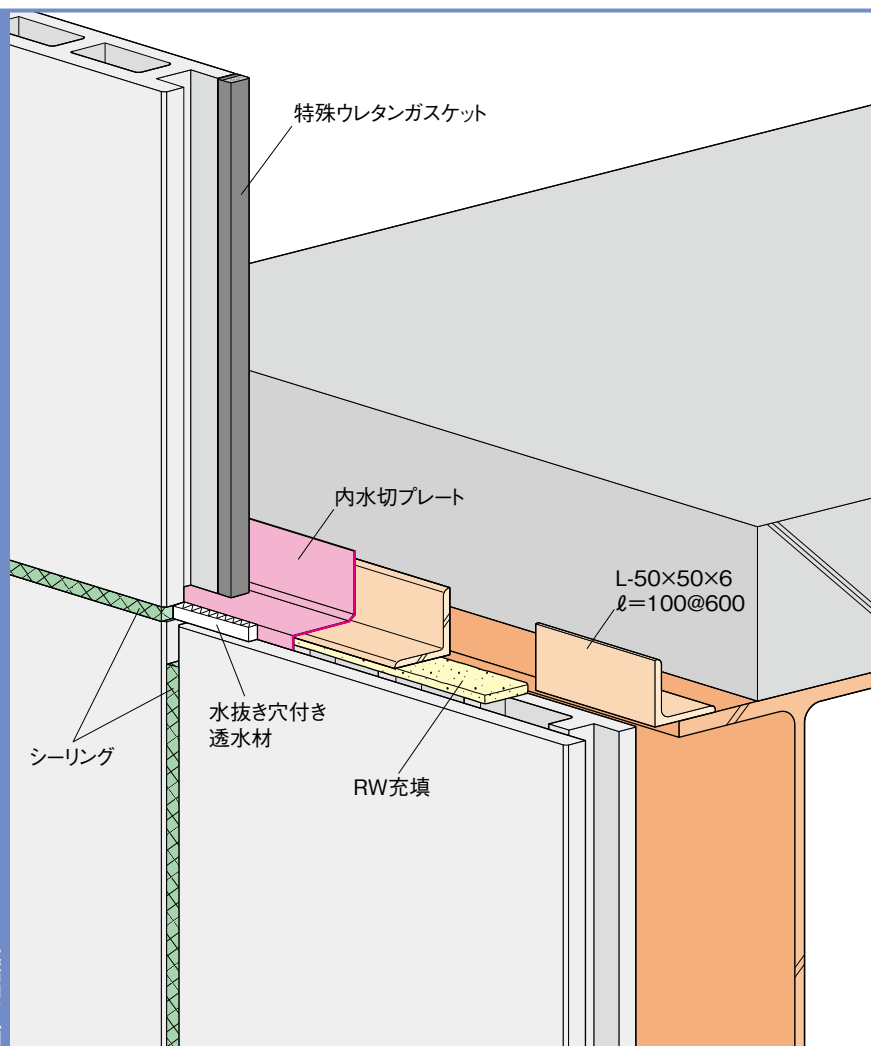


工 法 概 要		縦ガスケットと横ガスケットを突き合わせて連結させた高水密工法です。	
適用建物高さ		原則45m以下(外足場が建つ高さまで)	
足場の必要性		外足場必要・内足場必要	
耐 震 性 能		スライド方式	
		[1/300] 健全で再使用可能(理論値・試験値) [1/100] 破損・脱落なし(理論値・試験値)	
水 密 性 能		平均2250Pa(最大3000Pa)漏水なし(実験値)	
対 応 パネル		60mm厚品、75mm厚品厚品	
副資材	金 物	Rクリップ+NVナット(推奨) HZクリップ+NVナット(推奨) Zクリップ+NVナット(推奨)	Rクリップ標準セット W型Zクリップ標準セット Zクリップ標準セット
	2次シール	特殊ウレタンガスケット	
工場プレ加工		横ガスケット工場張り可能	
作 業 環 境		横ガスケット工場張りで、剥離紙ゴミを軽減する。	

ニューセフティ縦張り標準工法

透水材付内水切=実用新案登録 第 3183566 号

特殊ウレタンガスケット=特許 第 5466074 号



〔概要〕

縦張り工法は、アスロック横目地部分に、水抜き穴付き透水材を一体化させた内水切を使用し、縦目地部分に特殊ウレタンガスケットを使用した工法です。表面シーリング材の欠損部から侵入した雨水を、中空部を利用して下部に排水します。

〔メカニズム〕

内水切を用いる方法は一般的に行われてきましたが、内水切の外側に透水材がなければ効果はありません。本工法では、内水切の外側に工場段階で透水材を貼り付け、付け忘れを防止しています。また、縦目地のガスケットは工場プレ加工が可能で、品質が安定しています。

〔注意事項〕



1. 対応品種

縦張り工法の対応品種は、60 (62) mm厚品と75 (77) mm厚品（フラットパネル、デザインパネル、タイルロック）が標準です。（カッコ内はタイルロックの場合）

2. 副資材

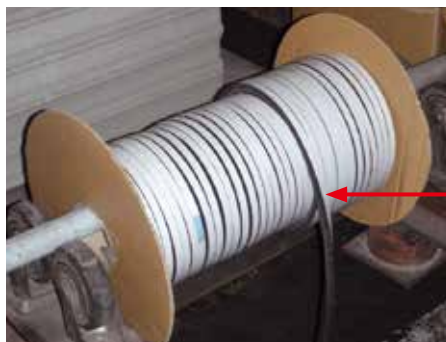
ニューセフティ工法に使用する副資材は、全て専用品です。ご注文は、弊社支店・営業所までお願いします。

下部水切りは、内水切を入れて外水切（別途工事）と連結するタイプと、一体型の外水切を用意しています。

工場プレ加工=高品質と工期短縮を実現

プレ加工により水密の品質を確保し、現場作業工程を省きました。

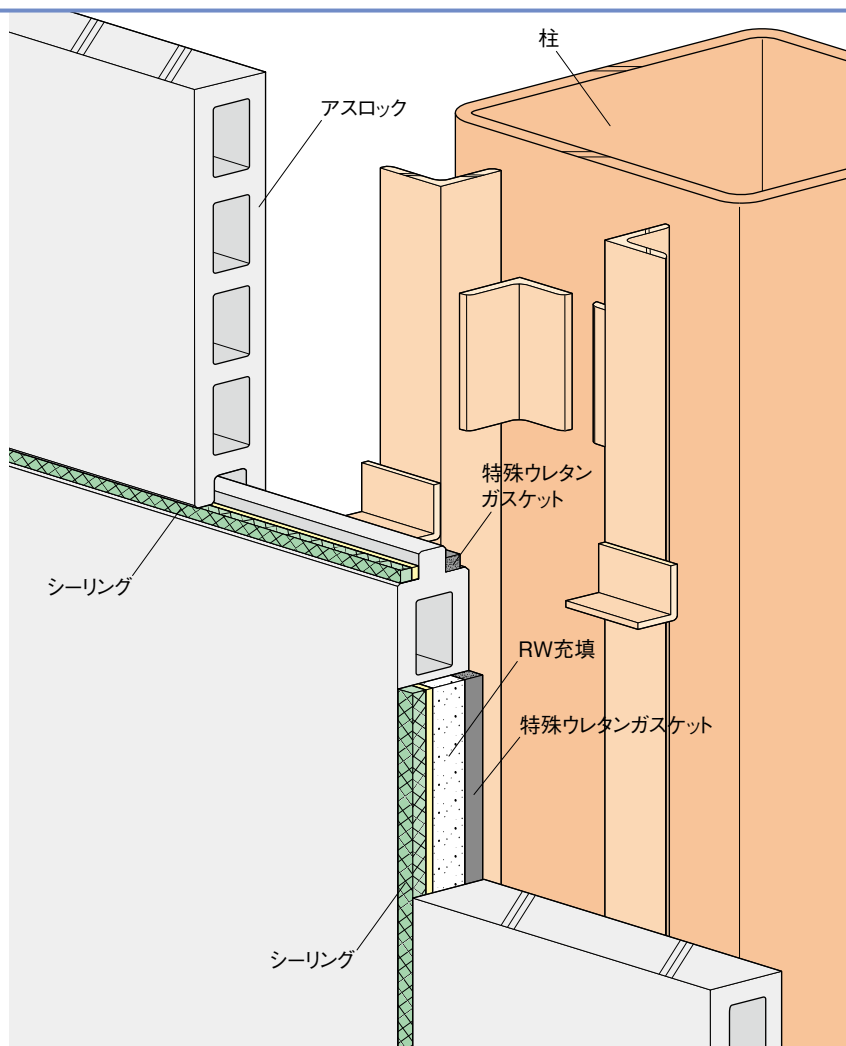
工場プレ加工で使用する特殊ウレタンガスケットは、プレ接続品（長さ225～255m）のため、パネル内で継ぎ目が発生しません。水密性能の弱点である継ぎ目がないことで、安定した水密性能が確保できます。また、現場でのガスケット貼り付け工程がないことで効率がアップし、剥離紙の廃棄が不要になります。



プレ接続部

※工場プレ加工が可能なのは、縦張り工法の縦ガスケットと横張り工法の横ガスケットです。

ニューセフティ横張り標準工法



〔概要〕

横張り工法は、アスロック縦目地部分に後挿入型特殊ウレタンガスケットを使用し、横目地部分の特殊ウレタンガスケットと連結した工法です。表面シーリング材の欠損部から侵入した雨水を、縦目地部を利用して下部に排水します。

〔メカニズム〕

横ガスケットを端部からはみ出させることで、縦横ガスケットのジョイント部にシーリング材を使用する必要がありません。

〔注意事項〕



1. 対応品種

横張り工法の対応品種は、60 (62) mm厚品と75 (77) mm厚品 (フラットパネル、デザインパネル、タイルロック) が標準です。
(カッコ内はタイルロックの場合)

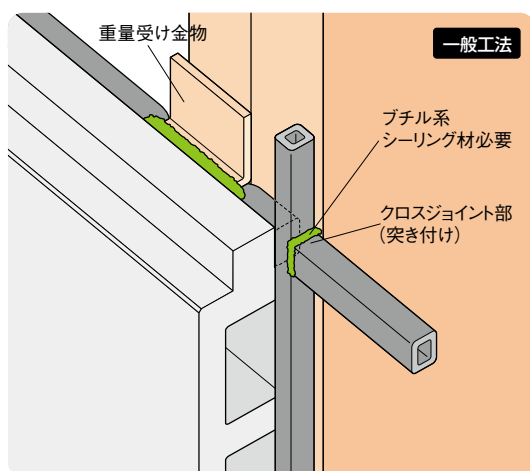
2. 副資材

ニューセフティ工法に使用する副資材は、全て専用品です。ご注文は、弊社支店・営業所までお願いします。

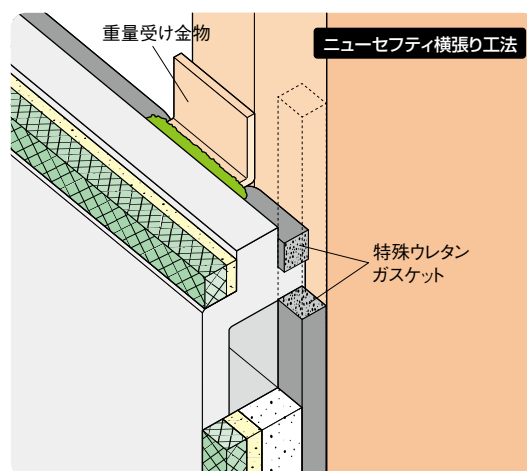
下部水切りは、内水切を入れて外水切 (別途工事) と連結するタイプと、一体型の外水切を用意しています。

ガスケットジョイント部＝ブチルシール不要

横ガスケットの端部からのはね出しにより、確実な連結が可能です。



※ガスケットクロスジョイント部には、ブチル系シーリング材が必要。
※重量受け金物の上にも、ブチル系シーリング材が必要。



※ガスケットクロス部にはシーリング不要。
※重量受け金物の上にも、変成シリコン系シーリング材が必要。

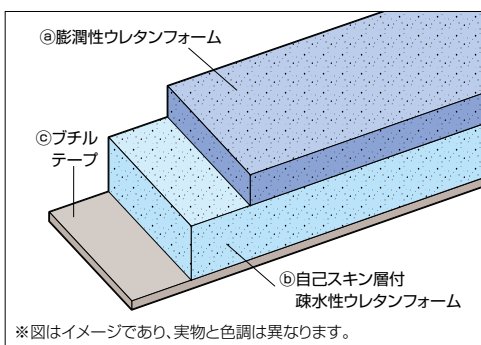
特殊ウレタンガスケットについて

〔優位性〕

- ① **日本製** 品質・納期が安定しており、豊富な技術資料もそろっている。
- ② **2層構造** 2つの異なる材料の貼り合わせで、卓越した性能を発揮する。(縦張り工法の場合)
- ③ **連続性** 端部は両面テープ付きで、確実なジョイントを可能にする。

〔メカニズム〕

ガスケットは、2つの異なる特殊機能を持つウレタンフォームを貼り合わせることで、安価ながら高い水密性能を発揮します。また、圧縮荷重はEPDM環状ガスケットの約半分と、圧縮が容易なことから、アスロックの建て込みが早く工期短縮が可能です。



⑥ 膨潤性ウレタンフォーム

圧縮されることで反発力が発生して止水性が発現し、さらに水分を吸収することでわずかに膨張し、パネルとの接点で密着性をさらに高めて止水します。

⑥ 自己スキン層付疎水性ウレタンフォーム

形状追従性に優れ、圧縮に対する復元性と圧縮の残留ひずみが小さい特長があります。また、低圧縮率でも高い止水性を発現し、低反発のために施工性(目地幅確保)が良好です。

⑥ ブチルテープ

パネルとウレタンフォームを、しっかり密着させます。

〔特 長〕

① 水密性能 = 中心 2,250Pa (最大 3,000Pa)

この水密性能は 61.2 (m/s) の風速に相当し、猛烈な台風とほぼ同じです。

ステップ	脈動圧力 (Pa)				換算風速 (m/s)	台風との関係	
	下限	中心	上限	イメージ		階級	代表的な台風
1	25	50	75		9.1	熱帯性低気圧	
2	75	150	225		15.8		
3	125	250	375		20.4		
4	200	400	600		25.8		
5	275	550	825		30.3	並の台風	
6	375	750	1025		35.4		
7	500	1000	1500		40.8		
8	625	1250	1875		45.6	非常に強い台風	伊勢湾台風 (1959) 45.4m
9	850	1600	2350		51.6		りんご台風 (1991) 50.0m、枕崎台風 (1945) 51.3m
10	1250	2000	2750		57.7		平成 24 年第 17 号台風 (2012) 55.0m
11	1500	2250	3000		61.2	猛烈な台風	室戸台風 (1934) 60m 超、第 2 宮古島台風 (1966) 60.8m 洞爺丸台風 (1954) 63.3m、第 2 室戸台風 (1961) 66.7m

「ニューセフティ工法」の水密性能

※換算風速は、風速 = $\sqrt{\text{中心圧力} \div 0.6}$ で計算しており、建築基準法の諸係数を考慮していません。
※上記は水密性能であり、気密性能を含むものではありません。

建物に必要とされる水密性能の算出方法には、建築基準法に基づき算出した風圧力に低減率を加える方法がありますが、日本建築学会発行の「外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針・同解説」には、主要都市の水密設計用基本風速と計算例が記載されています。「ニューセフティ工法」の水密性能はこの理論に基づいており、今後温暖化にともない発生が懸念されるスーパー台風への対策に必要な性能を持っています。

② 防火性能 = 難燃性

溶接の火の粉が落ちて、溶けるだけで延焼はしません。

EPDM系、ウレタン系ともに石油製品であることから、一般的には可燃材料です。しかし、「ニューセフティ工法」に使用している特殊ウレタンガスケットは、難燃性能を付加していますので、安心してご使用いただけます。

また、この特殊ウレタンガスケットは、外壁アスロックの内側に露出することはありませんが、外側には露出しませんので、大臣認定耐火構造では認められていない外側への取り付けには該当しません。

(参考) 大臣認定の外壁の屋内側に仕上げ材として木材等を張る場合 (名古屋市 建築基準法関連事例集)

外壁の耐火性能として加熱面以外の屋内面の温度が、屋内面に接する可燃物が燃焼する温度以上に上昇しないことが認定基準になっているため、屋内側の仕上げ材については、内装制限を受けなければ木材等を張ることができる。

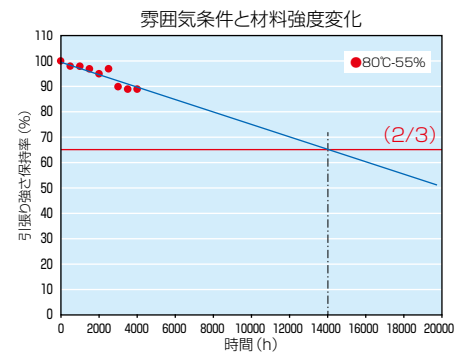
③ 耐久性能 = 約50年の寿命

紫外線の影響は受けず、熱劣化による2/3強度低下までは約50年と推測できます。

特殊ウレタンガスケットは、外部に露出せず紫外線の影響を受けませんので、熱劣化試験から寿命を推測します。

気温80℃湿度55%における特殊ウレタンガスケットの強度変化を測定の結果、約14,000時間後に引張り強さ保持率が2/3になることが推測できます。これを、「アレニウスの法則 (使用環境の温度が10℃下がると寿命は2倍に伸びるといふ法則)」を利用して、気温30℃湿度55%における引張り強さ保持率が2/3になる時間を推測すると、約50年になります。

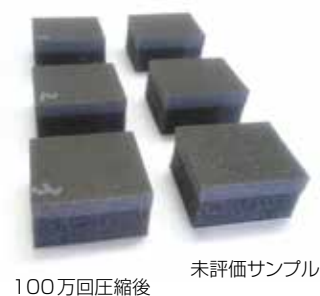
(80℃ → 30℃) $2^5 \times 14,000 = 448,000$ 時間 → 約50年



④ 圧縮復元性能 = 長期的に隙間が生じない

100万回の繰り返し圧縮に対しても、ほぼ元の形状に復元します。

「ニューセフティ工法」での特殊ウレタンガスケットの標準的な使用方法是、15mm厚を10mmに圧縮して使用します。そこで、15mm厚を10mmに圧縮する試験を100万回繰り返した結果、形状の変化は15mm→14.4mmとわずかであり、止水性に影響を与えることはありません。



100万回圧縮後

未評価サンプル

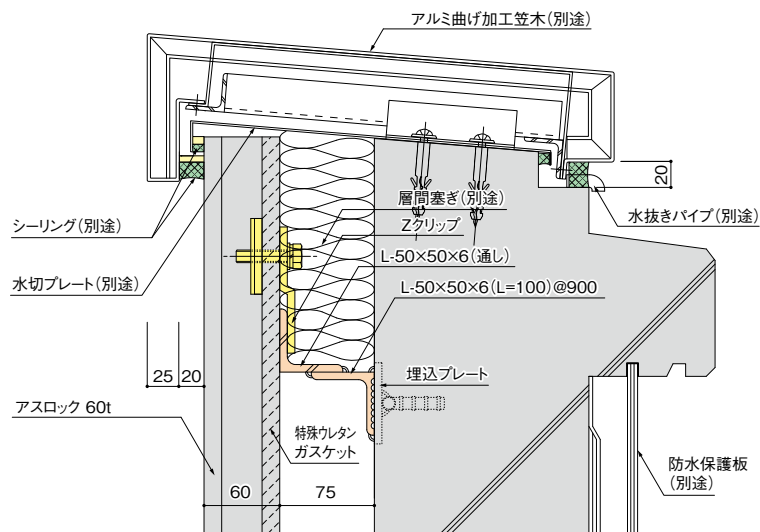
⑤ 豊富な実績 = 土木業界などを中心に25～30年の実績有り

長年広い分野で採用されている製品のため、安心してお使いいただけます。

特殊ウレタンガスケットは、これまで土木分野、建築分野、自動車分野、家電分野で広く採用されてきました。「建築物の長期使用に対応した外装・防水の品質確保ならびに維持保全手法の開発に関する研究 (建築研究所 No.145 August2013)」では、「外壁を構成する各種乾式パネルおよびパネル間の防水材料～ガスケット」で、その他のガスケットとしてウレタン系が紹介されています。また、土木業界では「プレキャストボックスカルバート (地中に埋設される箱型構造物)」の目地防水材として標準採用されています。

ニューセフティ縦張り標準工法 詳細図

上部垂直断面

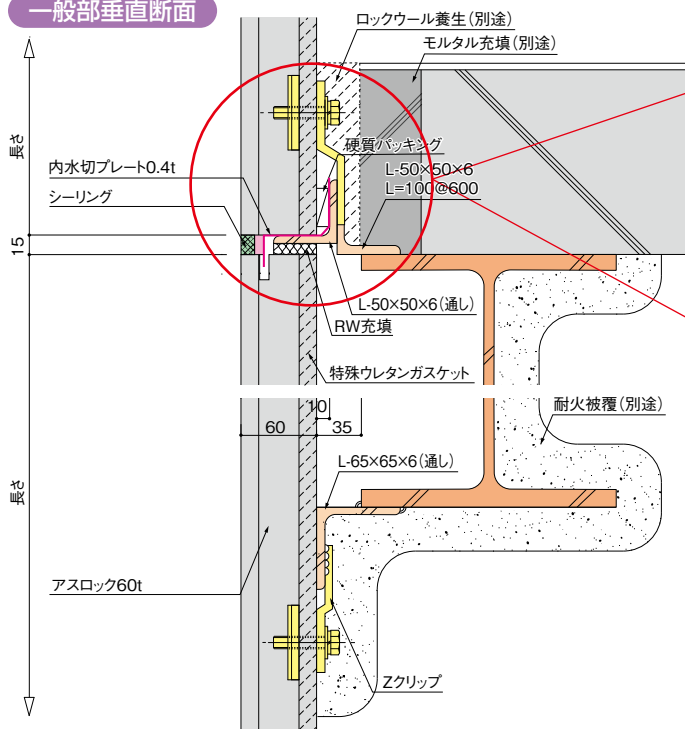


〔注意事項〕

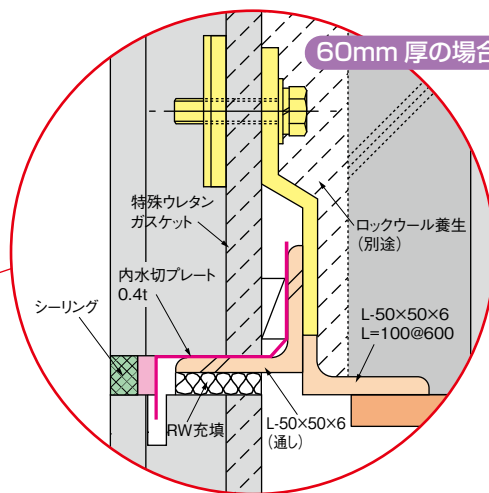


75mm厚品に対応する水切は、内水切は専用
品を用意していますが、窓上および下部には
60mm厚品用をご使用ください。また、75mm
厚品用の外水切は用意しておりません。

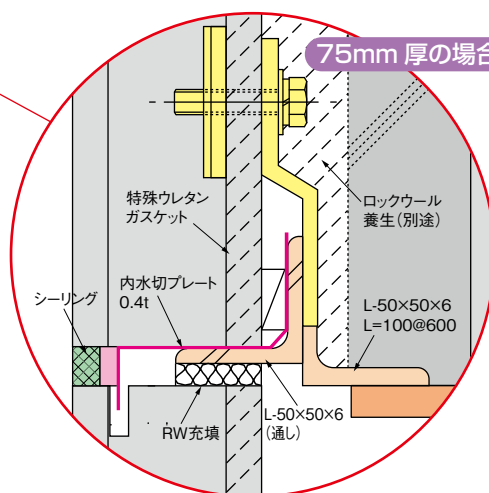
一般部垂直断面



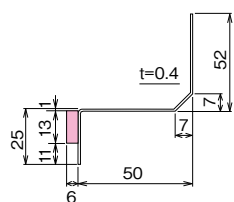
60mm 厚の場合



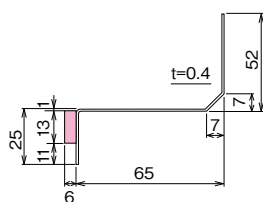
75mm 厚の場合



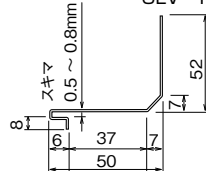
60mm 厚 発注番号: SUS=103
GLV=183



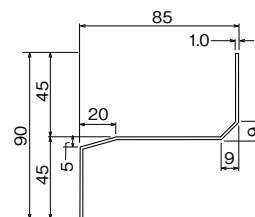
75mm 厚 発注番号: SUS=143
GLV=147



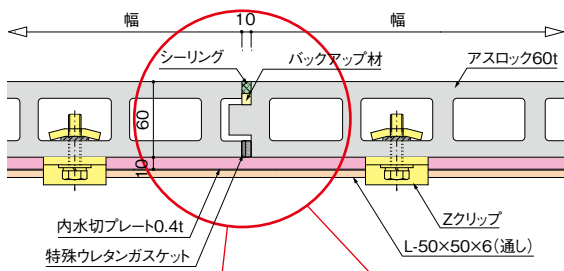
60mm 厚・75mm 厚兼用
下部内水切 ストレート SUS=116
GLV=189



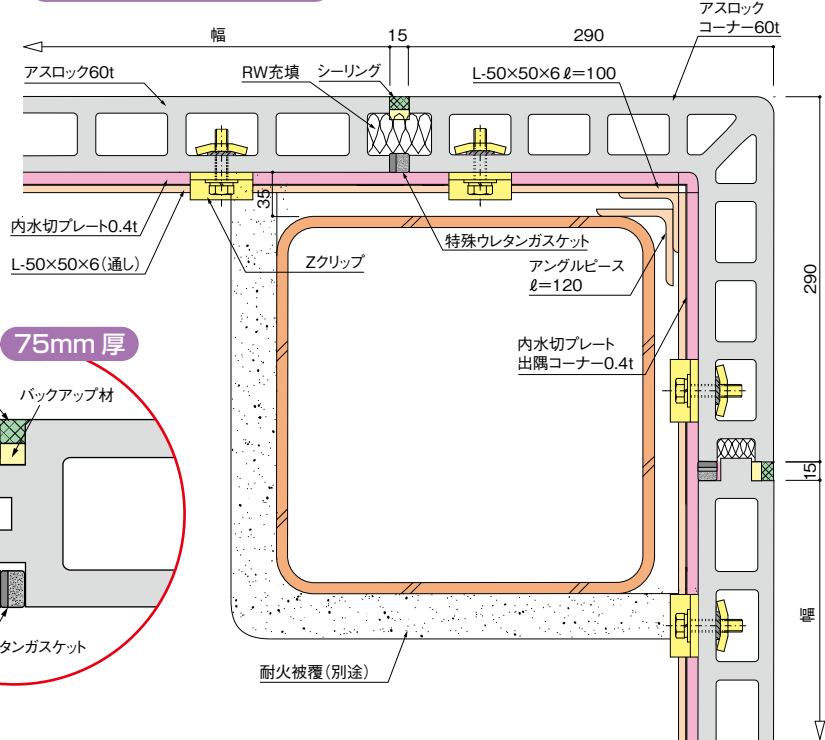
60mm 厚用 発注番号: SUS=112



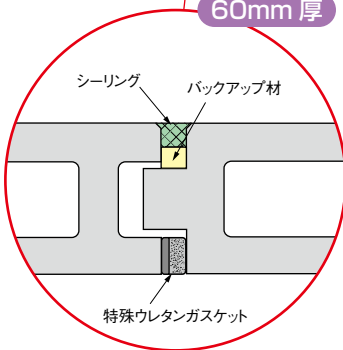
一般部水平断面



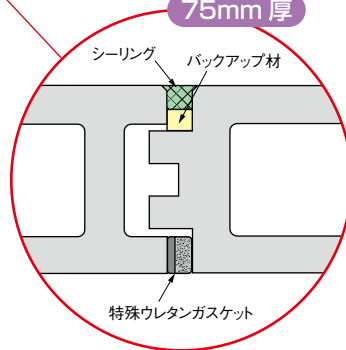
出隅コーナー部水平断面



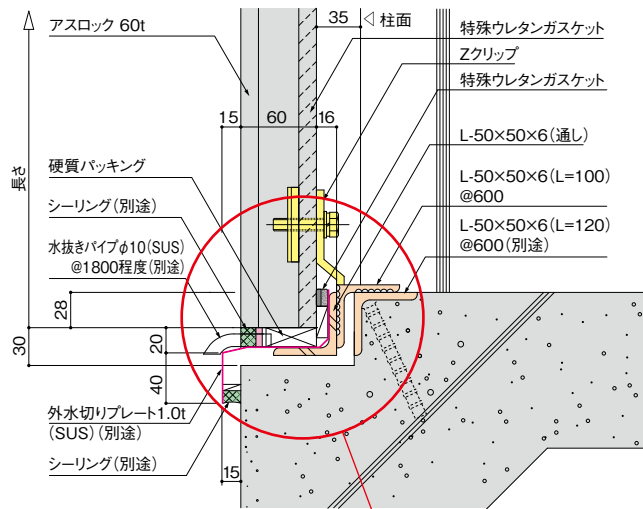
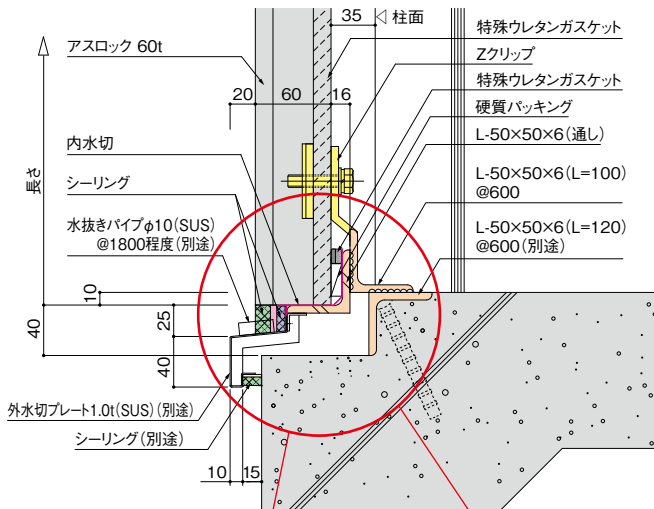
60mm 厚



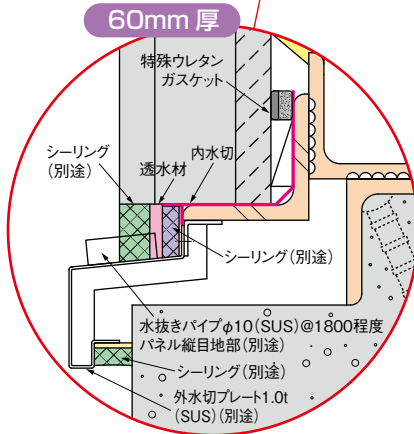
75mm 厚



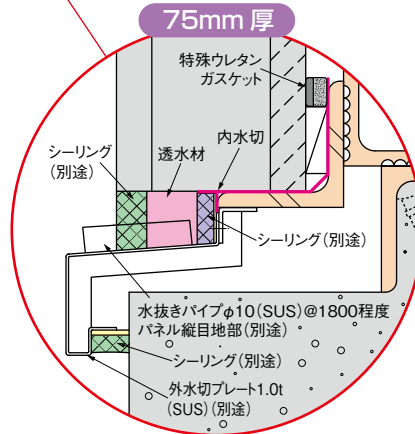
下部垂直断面



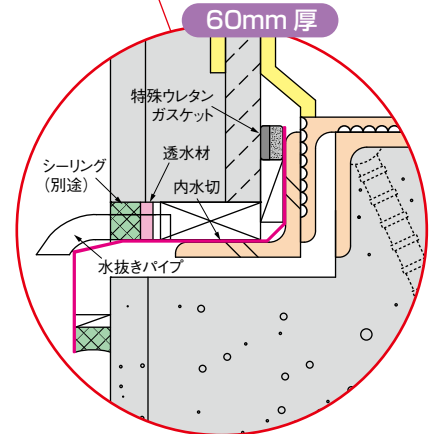
60mm 厚



75mm 厚



60mm 厚

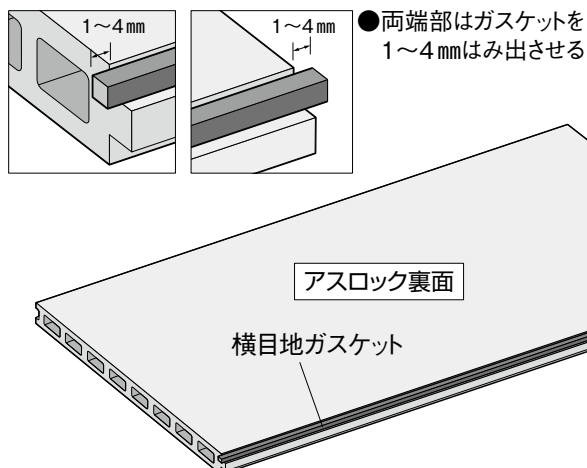


ニューセフティ縦張り標準工法の施工概要と注意事項

ガasketの取付け

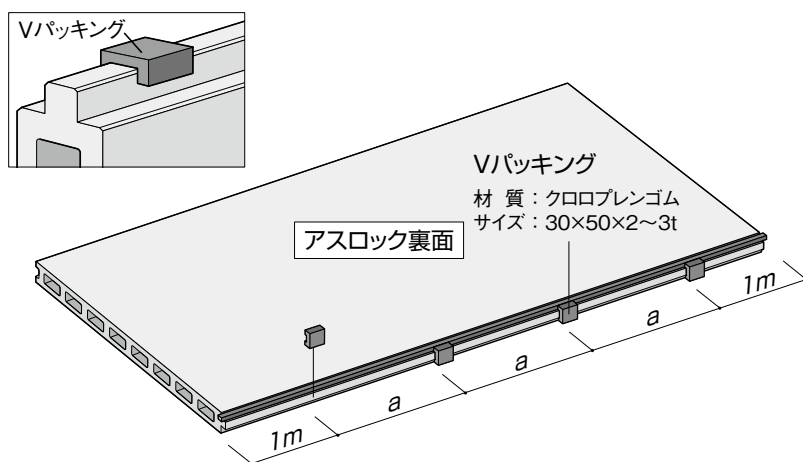
建て込み前のアスロック凸部裏面側に、10mm 目地用ガasket (T10T) を貼り付けます。ガasketは、最初の端部が接着面になっていますので、2本のガasketを確実に接着してください。

なお、ガasketの貼り付けは、工場プレ加工を推奨します。



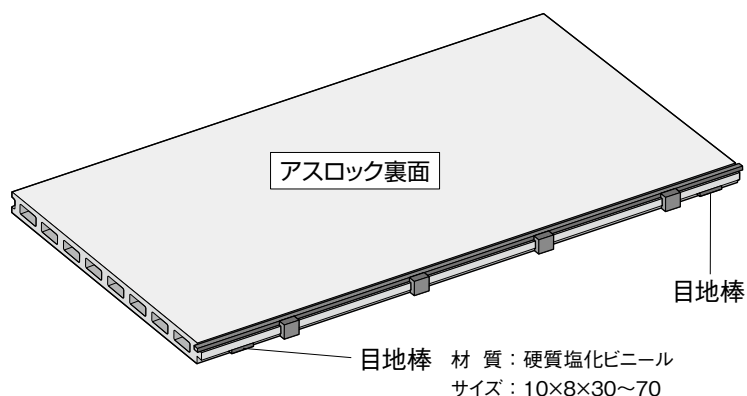
Vパッキングの取付け

アスロック凸部頂点に、Vパッキングを貼り付けます。その位置は、アスロック両端部から1m程度の所とし、アスロックが4mを超える場合は、さらに中央部に2か所追加します。アスロック長さの中央部への貼り付けは避けてください。なお、ガasketと干渉しないように注意して貼り付けてください。



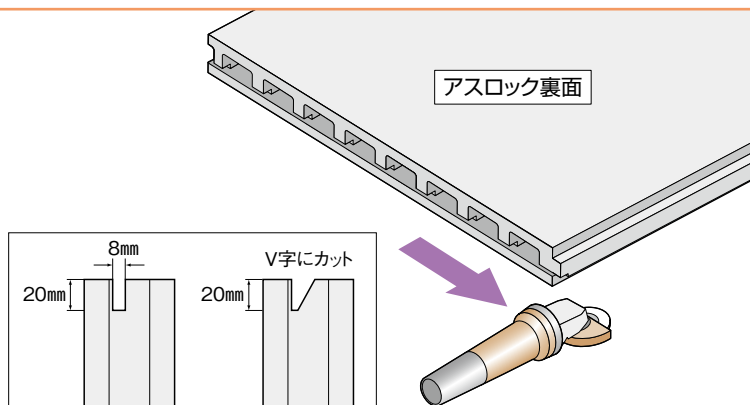
目地棒の取付け

目地棒は、10×8×30~70mmの物を使用します。アスロック凸部表面側に、8mmの面を接着面として貼り付けます。貼り付け位置は、アスロック両端部の2か所とします。



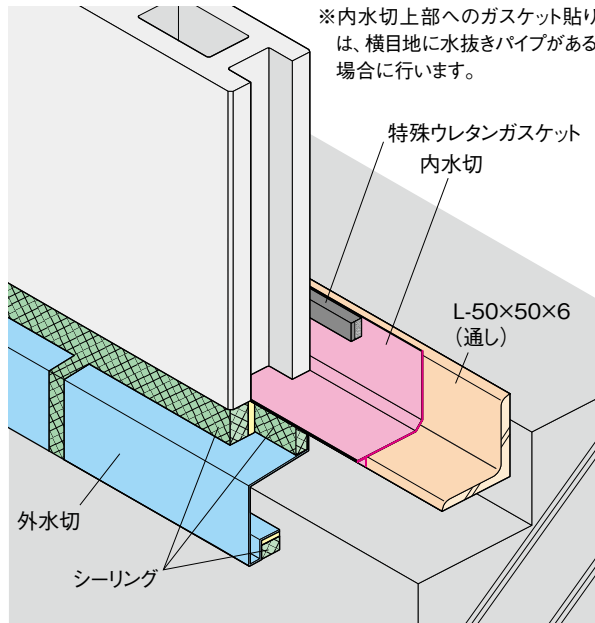
溝加工

アスロックの建て込み後上部になる小口に、内水切用の溝加工を行います。大きさは、幅8mm以上、深さ20mm以上とし、四角型、V型のいずれでも可とします。



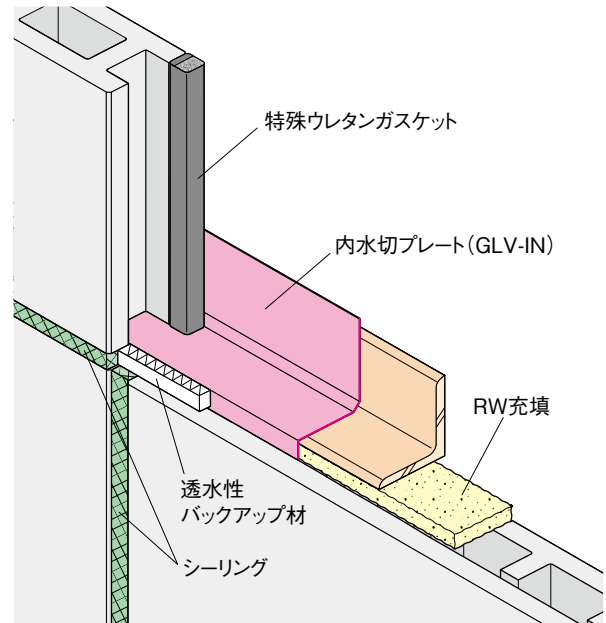
下部

下部用内水切(窓上用内水切と同じ)を受けアングルにセットし、10mm目地用ガスケット(T10T)を内水切の上部に張り付けながら、アスロックを建て込みます。コンクリート立ち上がりとの止水は、内水切と外水切(別途工事)を2次的シール、アスロックと外水切を1次シールします。



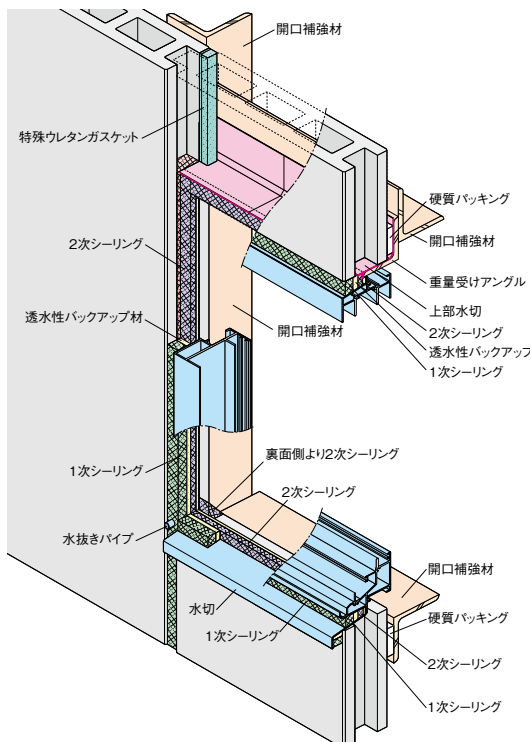
一般部

アスロックと受けアングルの間に不燃物(ロックウール、セラミックウールなど)を充填します。溝加工部分に内水切の先端を差込んでセットし、アスロックを建て込んでいきます。



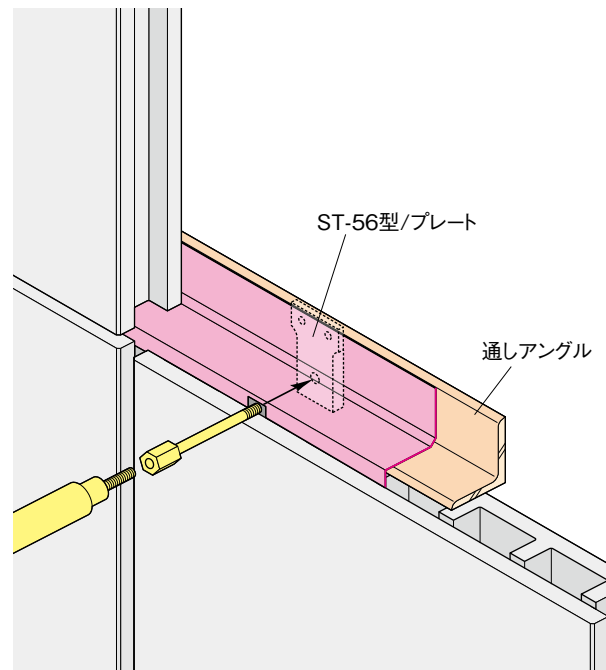
開口部

開口上は、窓上用水切をセットした上でアスロックを建て込みます。



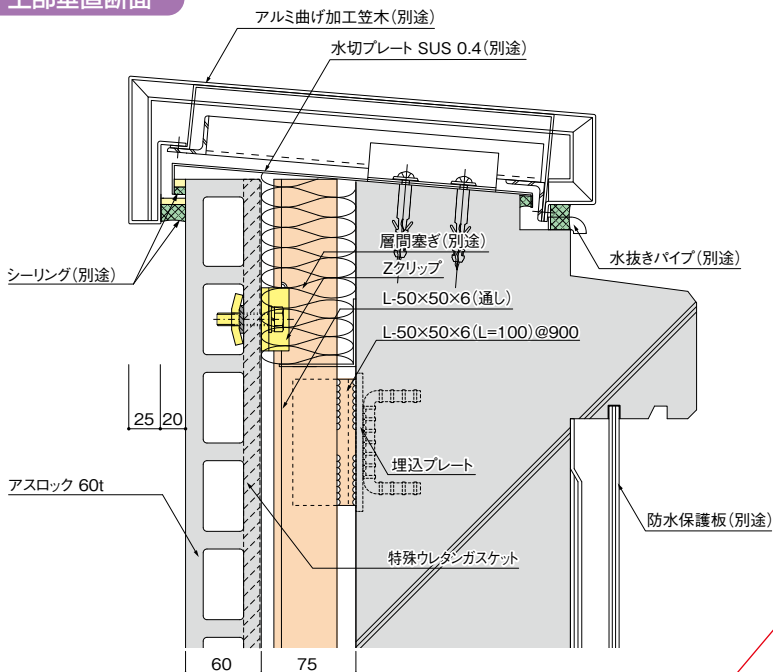
足場つなぎ

足場つなぎは専用品を使用し、内水切を部分的に欠き込みます。

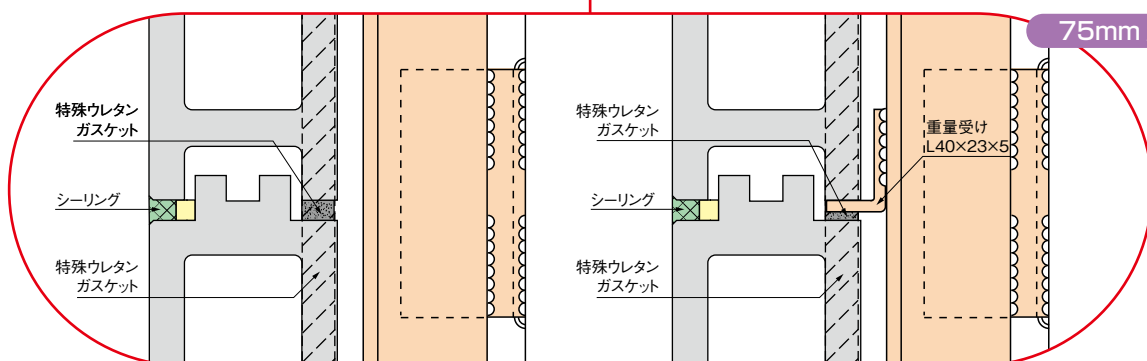
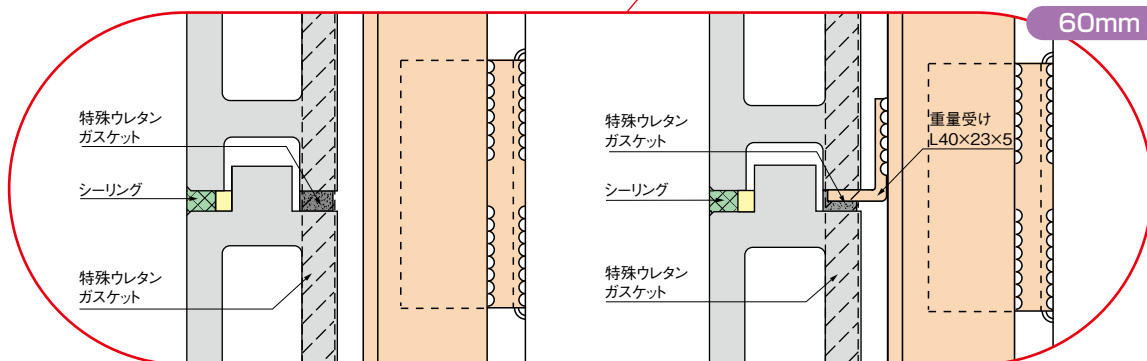
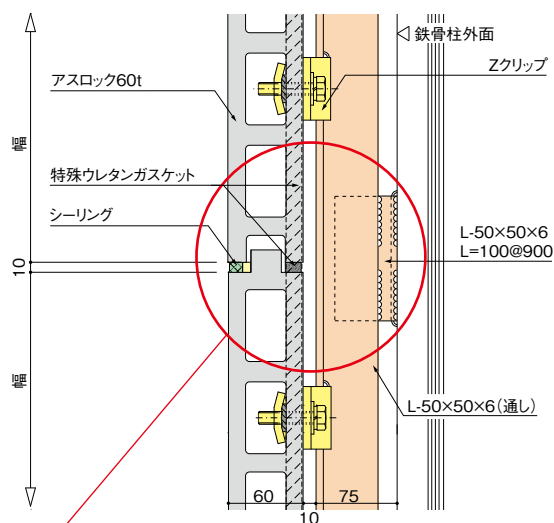


ニューセフティ横張り標準工法 詳細図

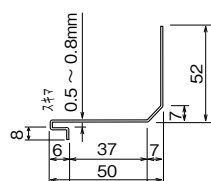
上部垂直断面



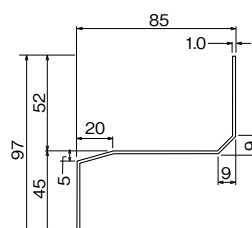
一般部垂直断面



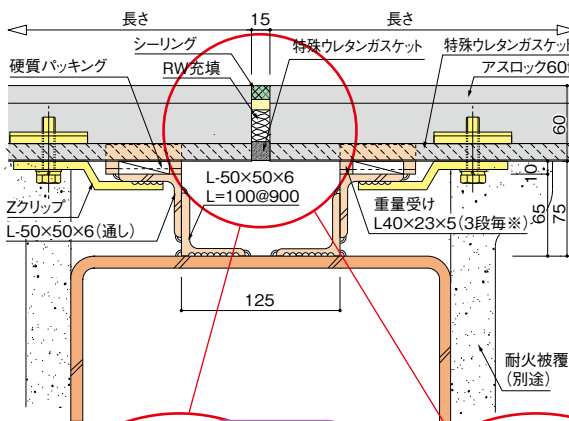
60mm厚・75mm厚兼用 下部内水切 ストレート SUS=116
GLV=189



60mm厚 発注番号: SUS=112



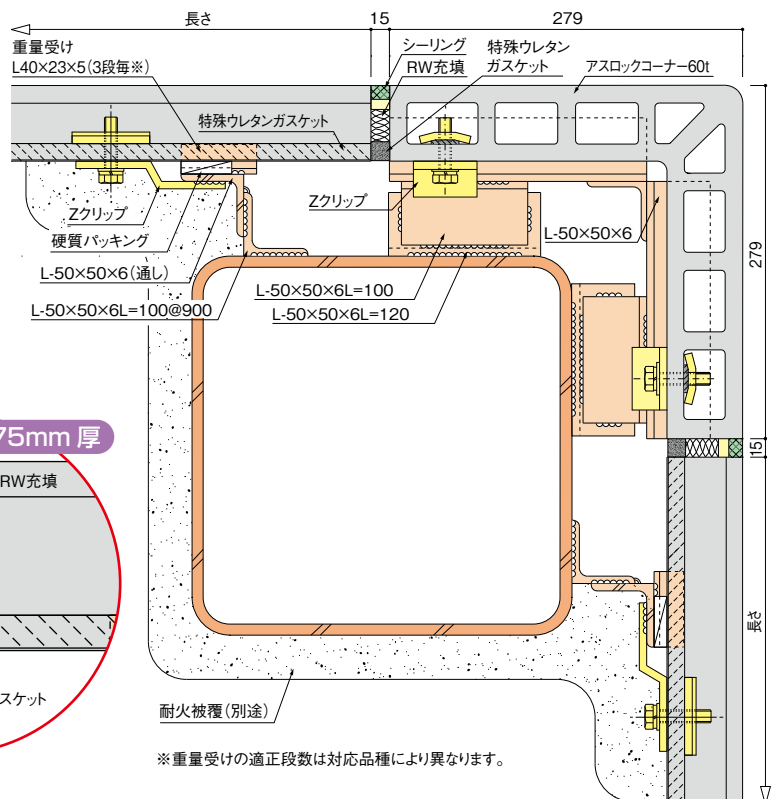
一般部水平断面



60mm 厚

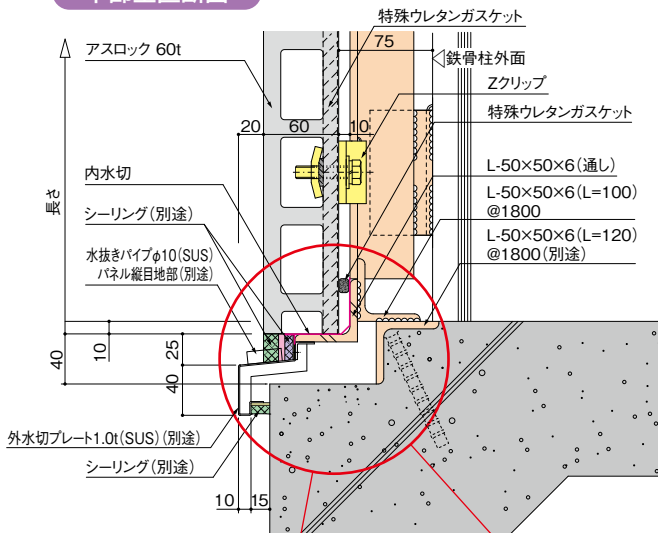
75mm 厚

出隅コーナー部水平断面

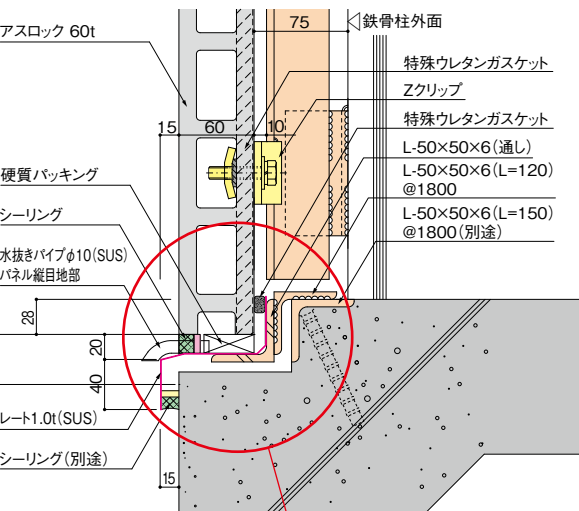


※重量受けの適正段数は対応品種により異なります。

下部垂直断面



60mm 厚



75mm 厚

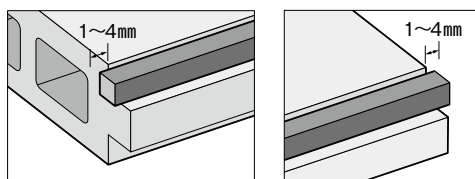
60mm 厚

ニューセフティ横張り標準工法の施工概要と注意事項

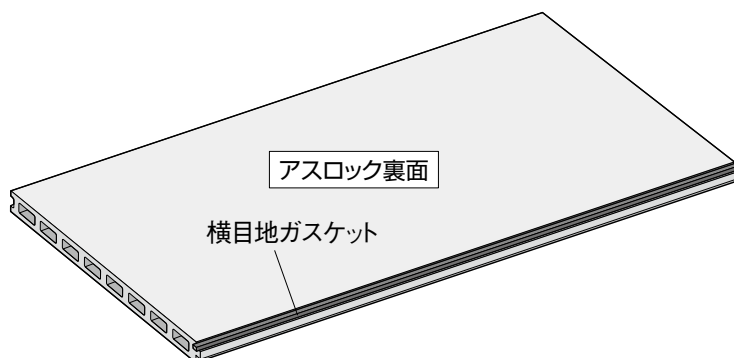
横目地ガasketの取付け

横目地用ガasket(NS10)を凸の裏面部に張り付け、両端部は1～4mmはみ出させます。ガasketは、最初の端部が接着面になっていますので、2本のガasketを確実に接着してください。

ガasketの貼り付けは、工場貼りを推奨します。

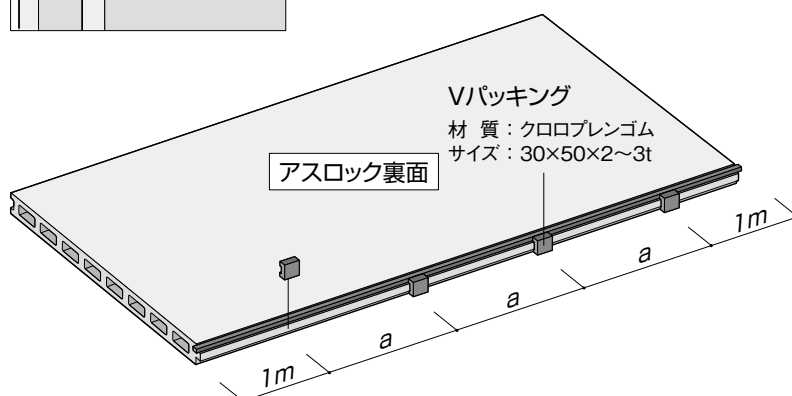
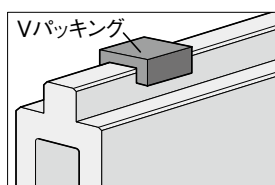


●両端部はガasketを1～4mmはみ出させる



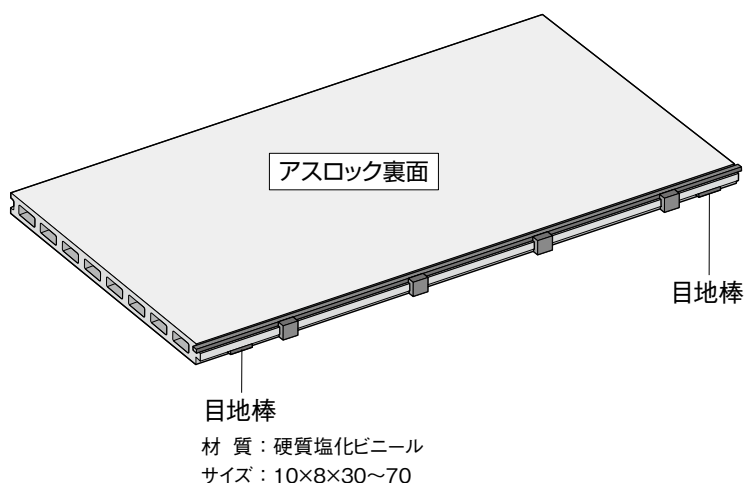
Vパッキングの張り付け

アスロック凸部頂点に、Vパッキングを貼り付けます。その位置は、アスロック両端部から1m程度の所とし、アスロックが4mを超える場合は、さらに中央部に2か所追加します。アスロック長さの中央部への貼り付けは避けてください。



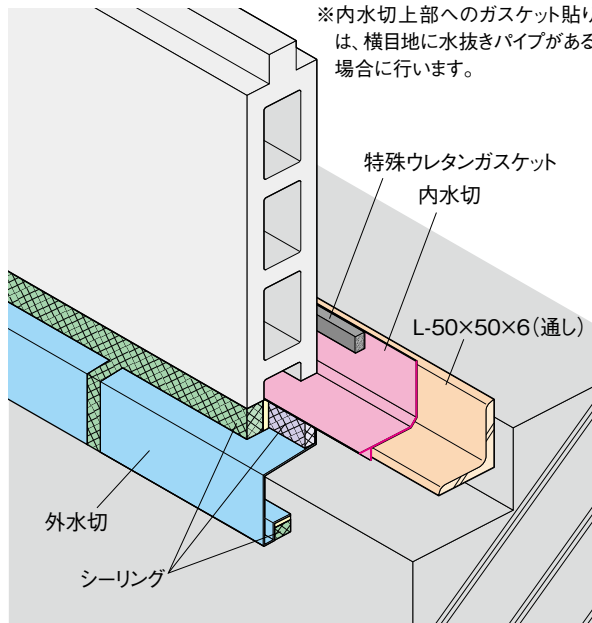
目地棒の取付け

目地棒は、10×8×30～70mmの物を使用します。アスロック凸部裏面側に、貼り付けます。貼り付け位置は、アスロック両端部の自重受けと同じ位置とします。



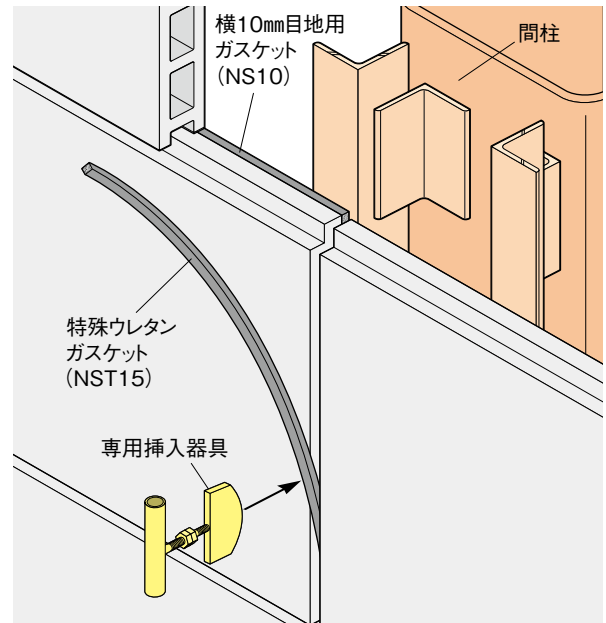
下部

下部用内水切(窓上用内水切と同じ)を受けアングルにセットし、10mm目地用環状ガスケットを内水切の上部に張り付けながら、アスロックを建て込みます。コンクリート立ち上がりとの止水は、内水切と外水切(別途工事)を2次的シール、アスロックと外水切を1次シールします。



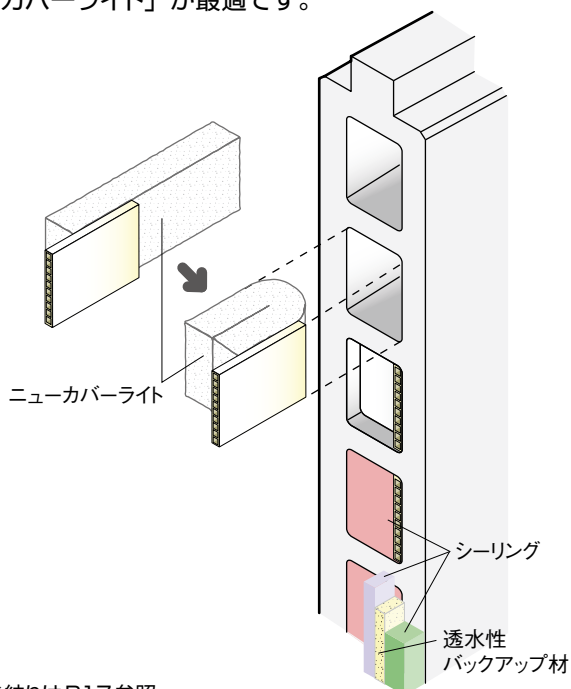
縦ガスケットの取り付け

アスロック建て込み後、表側(外部側)より専用挿入器具を用いて、縦目地用のガスケットを挿入します。ガスケットのジョイント部は、表側が下になるよう斜めに切断してジョイントします。隙間が開いた場合は、ブチルシールなどを充填します。



ニューカバーライト

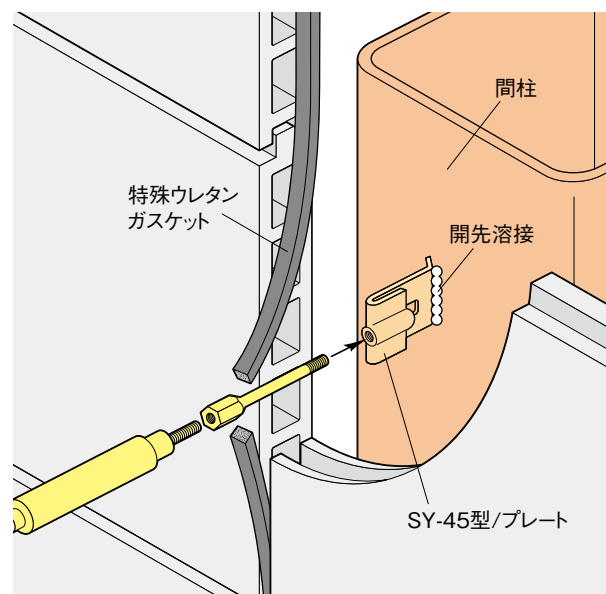
開口部横のアスロック中空部は、シーリング材などでふさがないでください。その方法として、「ニューカバーライト」が最適です。



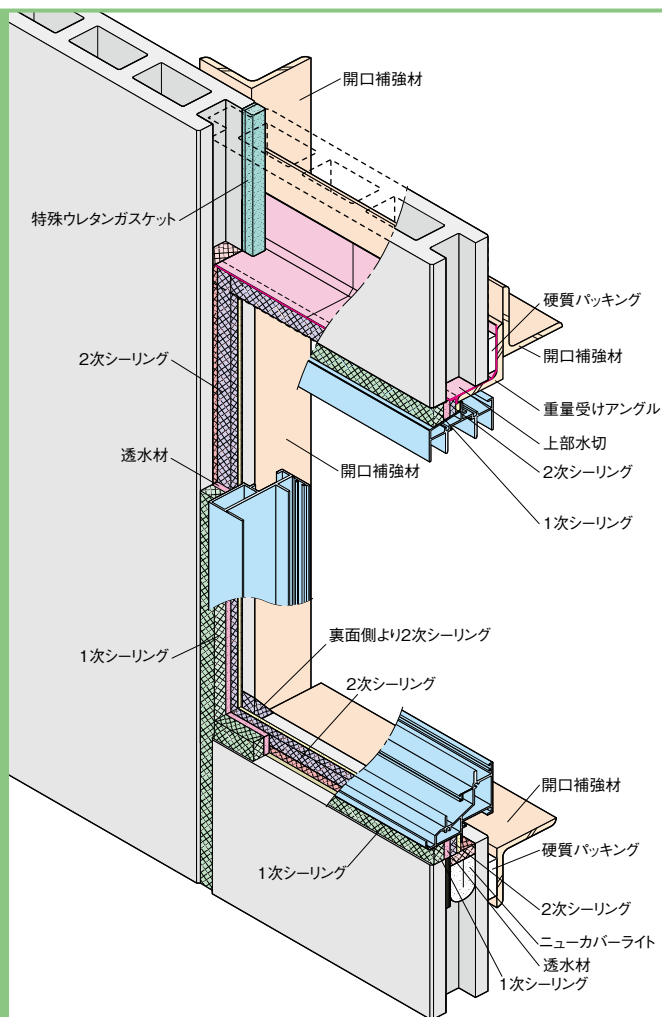
※納りはP17参照

足場つなぎ

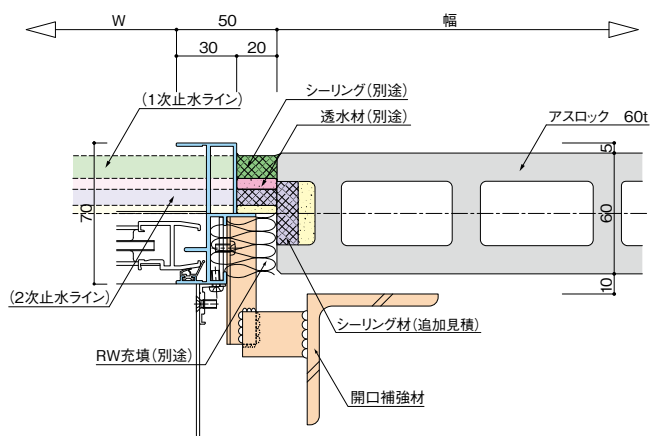
足場つなぎは専用品を使用し、ガスケットは外部に出るように仮付けします。



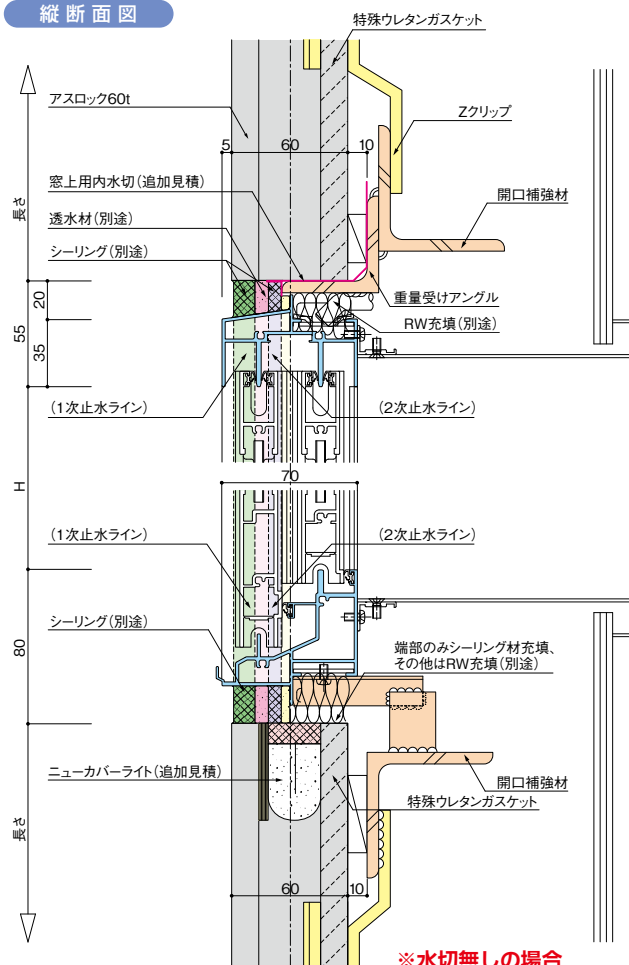
[縦張り工法] 汎用サッシの例



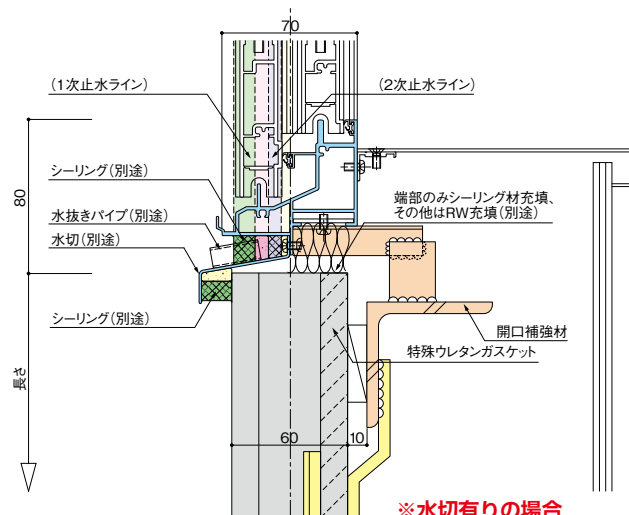
横断面図



縦断面図



※水切無しの場合



※水切有りの場合

[概要]

汎用サッシの納まりは、大手サッシメーカーが一般的に販売している面サッシと、アスロック60mm厚品との2次シールを可能にした工法で、外部からのシーリング材2重打ちを可能にしています。

※この納まりは、施工例を紹介するもので、水密性能の確認はしていません。

[施工の概要]

- 1 開口上部に、専用の内水切を入れておく。(アスロック工事)
- 2 汎用サッシ取り付け後、2次的シーリング材を充填する。(防水工事)
- 3 透水材、水抜きパイプ、外水切などを設置した後、1次シーリング材を充填する。(防水工事)

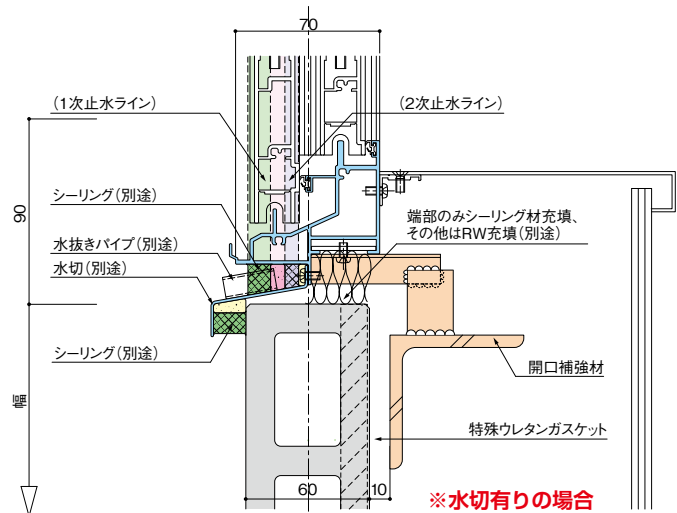
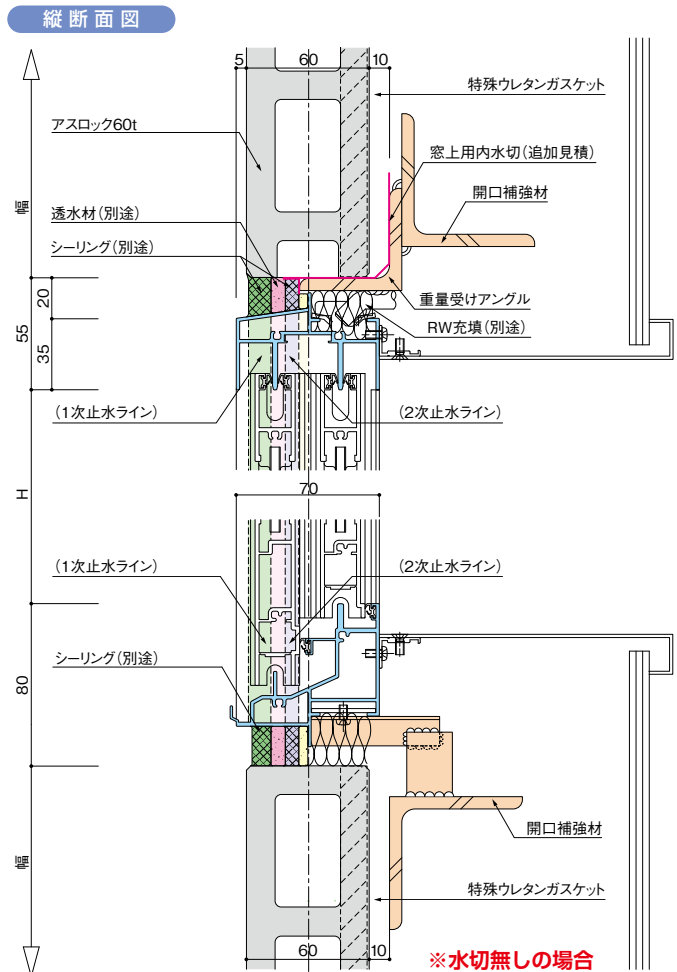
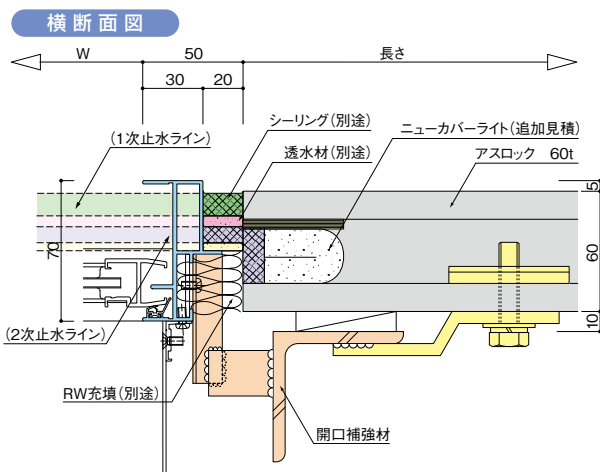
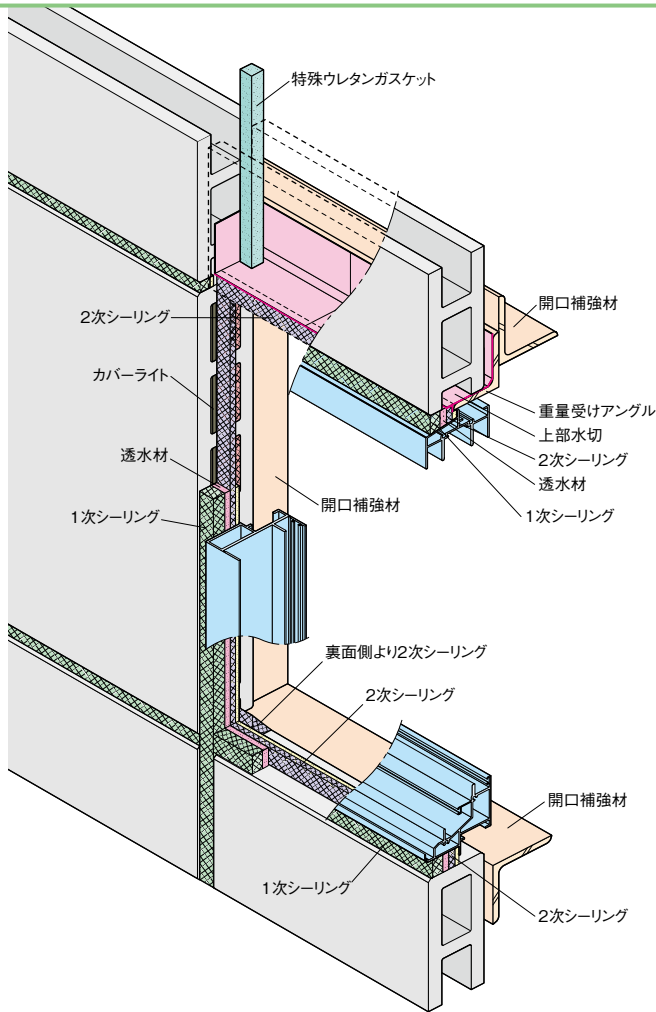
[注意事項]



1. 対応品種
汎用サッシへの対応品種は、60mm厚品に限定です。
2. 工事範囲と見積り
本工法は、通常の2次シール工法単価には含まれず、追加見積りになります。
3. サッシメーカーによりサッシ形状が異なります。本図は一例です。

[横張り工法] 汎用サッシの例

ASLOC Neo



[概要]

汎用サッシの納まりは、大手サッシメーカーが一般的に販売している面サッシと、アスロック60mm厚品との2次シールを可能にした工法で、外部からのシーリング材2重打ちを可能にしています。

[施工の概要]

- 1 開口上部に、専用の内水切を入れておく。(アスロック工事)
- 2 汎用サッシ取り付け後、2次的シーリング材を充填する。(防水工事)
- 3 透水材、水抜きパイプ、外水切などを設置した後、1次シーリング材を充填する。(防水工事)

[注意事項]



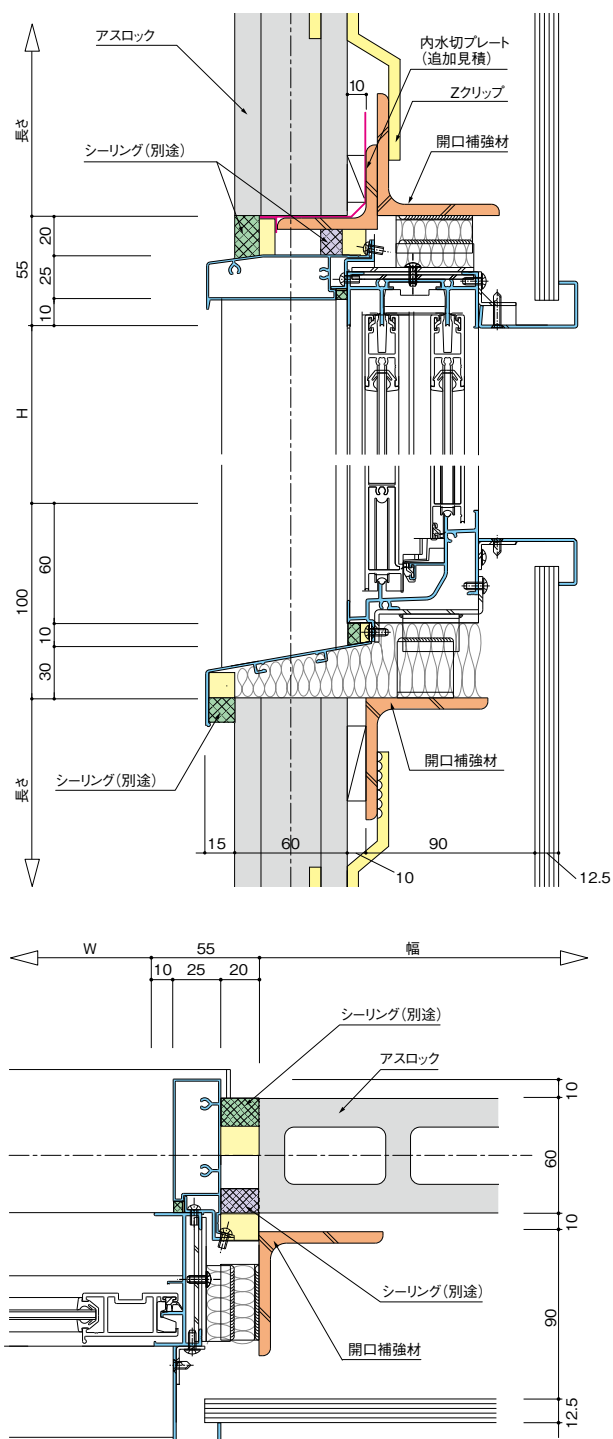
1. 対応品種
汎用サッシへの対応品種は、60mm厚品に限定です。
2. 工事範囲と見積り
本工法は、通常の2次シール工法単価には含まれず、追加見積りになります。
3. サッシメーカーによりサッシ形状が異なります。本図は一例です。

※この納まりは、施工例を紹介するもので、水密性能の確認はしていません。

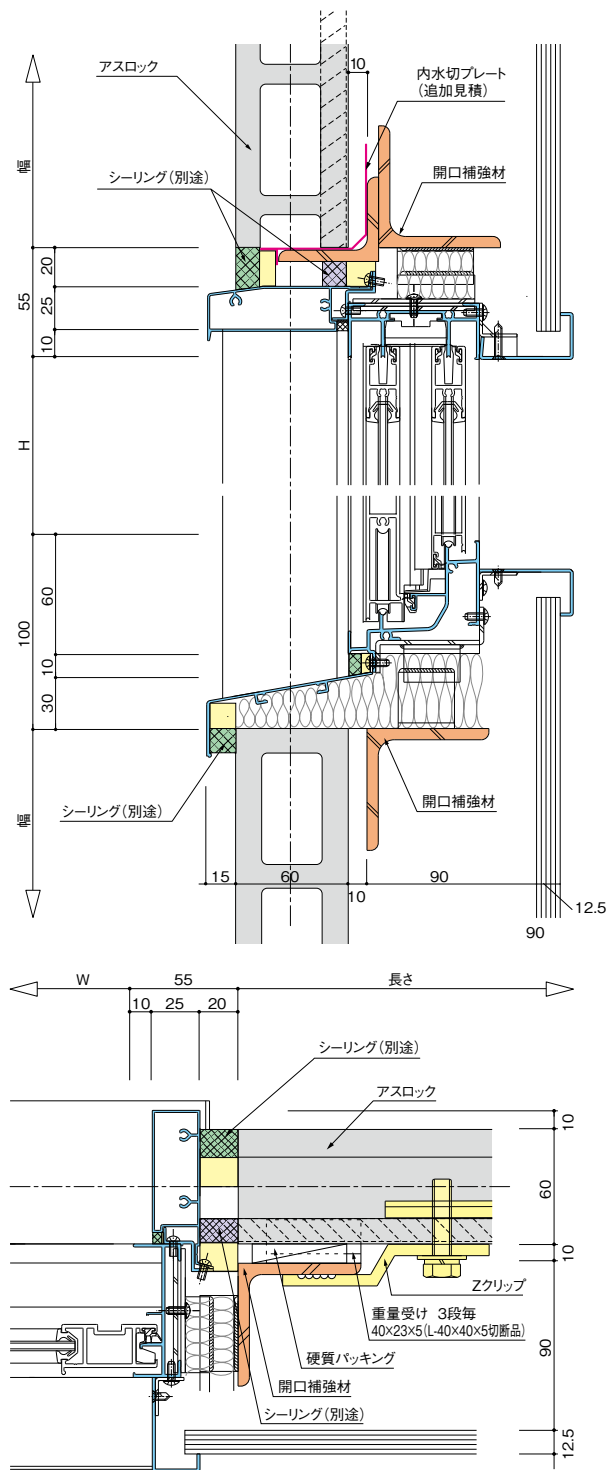
[横張り工法] 汎用サッシの例

額縁付サッシの例

縦張工法



横張工法



【概要】

汎用サッシの外側に、窓上・窓横額縁と、額縁の大きさに合わせた水切りを付ける工法です。アスロックの裏面部分と表面部分の2箇所、外部からのシーリング材充填を可能にします。

【施工の概要】

- 1 開口上部に、専用の内水切を入れておく。(アスロック工事)
- 2 汎用サッシ取り付け後、2次シーリング材を充填する。(防水工事)
- 3 透水性、水抜きパイプ、外水切などを設置した後、1次シーリング材を充填する。(防水工事)

【注意事項】



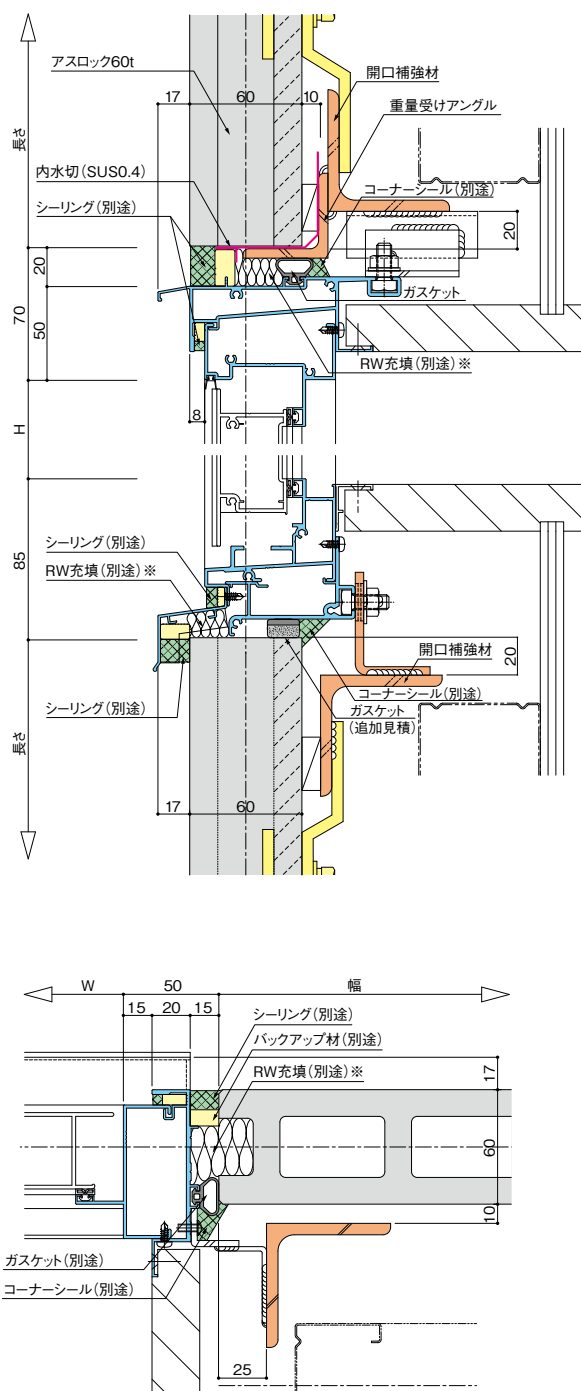
- ① フラットパネル60mm厚用の方法ですので、その他のパネルは別途検討する必要があります。
- ② 窓下では、裏面シールの連続性は保てません。
- ③ 額縁は、標準対応するメーカーが限られます。また、サッシの形状や寸法は一例ですので、詳しくはサッシメーカーにお問合せください。

※この納まりは、施工例を紹介するもので、水密性能の確認はしていません。

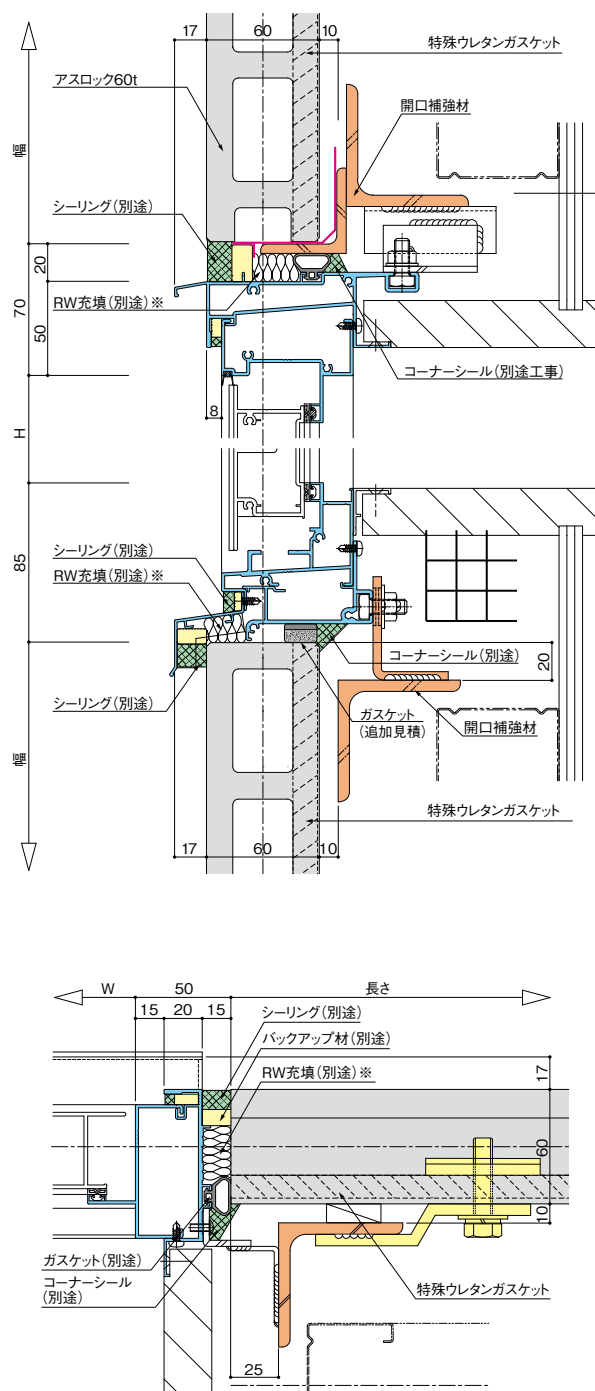
ECP専用サッシの例

ASLOC Neo

縦張工法



横張工法



[概 要]

ECP専用サッシは、三協立山サッシがECP協会の技術指導を元に開発した専用品です。

表面シーリング材の欠損部から侵入した雨水は、開口部四周のアスロック裏面に設置したガスケットで遮断されます。

※この納まりは、施工例を紹介するもので、水密性能の確認はしていません。

[施工の概要]

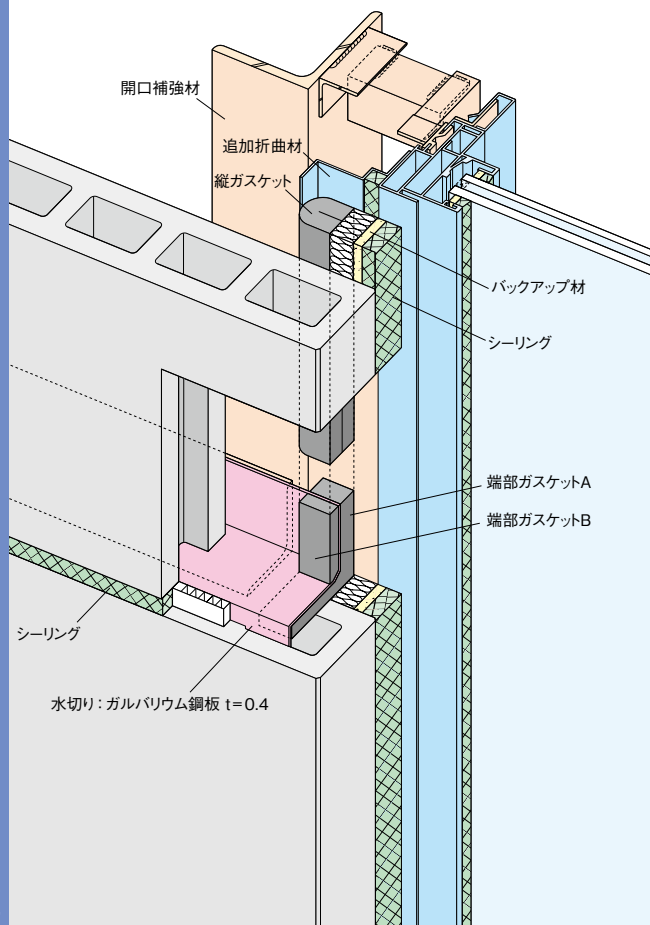
- ①縦張り連窓の場合(横張りの場合は窓上部にアスロック縦目地がある場合)には、窓上用内水切を入れておく。(アスロック工事)
- ②開口下部のアスロック裏面肉厚部には、10mm目地用ガスケットを貼っておく。(アスロック工事)
- ③ECP専用サッシを取り付ける。(サッシ工事)※アスロック取合部にRW充填。
- ④開口下隅の横ガスケット下とガスケットの付付け部にシーリング材を充填し、連結させる。(サッシ工事)
- ⑤窓周りに、シーリング材を充填する。(防水工事)

[注意事項]

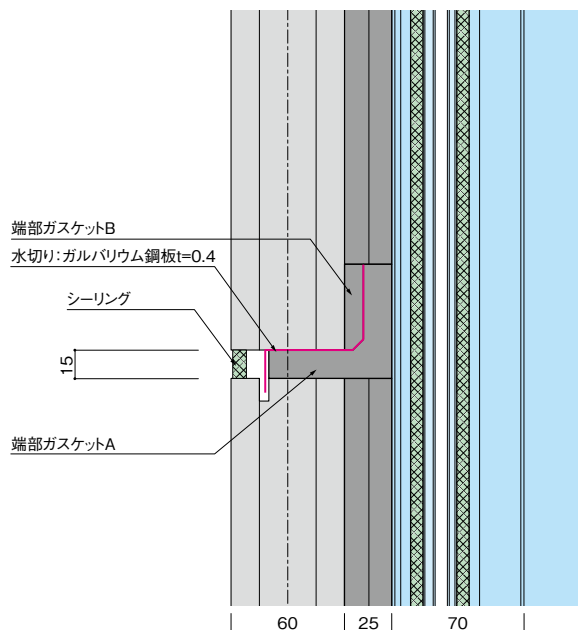


- ①対応品種
ECP専用サッシへの対応品種は、60mm厚品に限定です。
- ②副資材
開口部四周に設置するガスケットの内、上部と横部はサッシ工事ですが、下部はアスロック工事になります。そのため、アスロック工事見積り依頼の際には、必ずECP専用サッシを使用することをご説明願います。

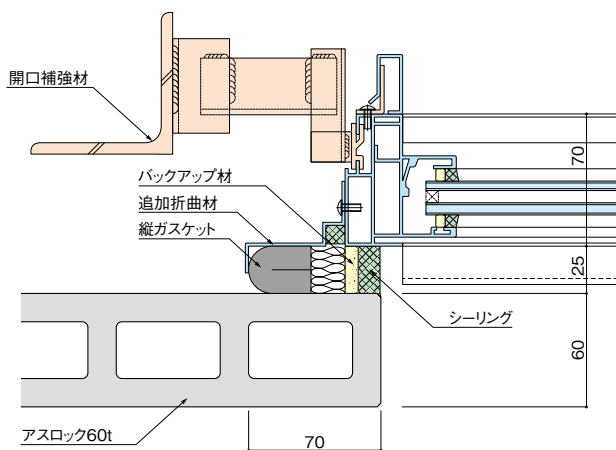
縦連窓の例



縦断面図



横断面図



※工事範囲は、都度打合せになります。

【概要】

近年、縦連窓とアスロックの交互使いの意匠が採用される場合が増えています。この場合は、アスロック両小口の短部処理と、縦連窓サッシとの目地部の2次シールが求められます。

その対応として、「ニューセフティ縦張り工法」での納まり例を紹介します。

※この納まりは、施工例を紹介するもので、水密性能の確認はしていません。

【施工の概要】

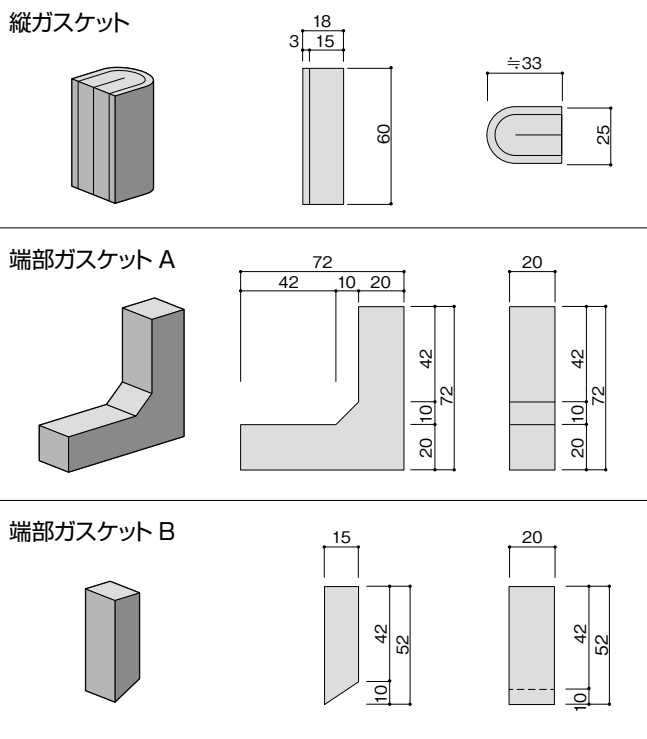
- 1 内水切の両端部に端部ガasket Aを貼っておく。
- 2 水切をセットし、端部ガasket Bを両端に貼り、パネルを建て込む。
- 3 サッシ取り付け後に、縦ガasketを挿入する。

【注意事項】



- ①サッシ枠は、2次シール用ガasketを留めるアングルが追加が必要です。
- ②サッシとアスロックの隙間は、25mmが標準です。
- ③副資材は、注文生産品です。
- ④縦ガasketは、必要寸法を事前に測定し、所定の長さより約5mm長く切断して使用してください。

副資材の例



縦張工法 縦 10mm目地用ガスケット (T10T-225、T10T-015)

発注番号179:T10T-225(15m×15本)
180:T10T-015(15m×1本)

※剥離紙は「白」

縦張工法 縦 15mm目地用ガスケット (T15T-150、T15T-010)

発注番号181:T15T-150(10m×15本)
182:T15T-010(10m×1本)

※剥離紙は「白」

縦張工法 縦 20~25mm目地用ガスケット (T25T-045、T25T-005)

発注番号195:T25T-045(5m×9本)
196:T25T-005(5m×1本)

※剥離紙は「白」

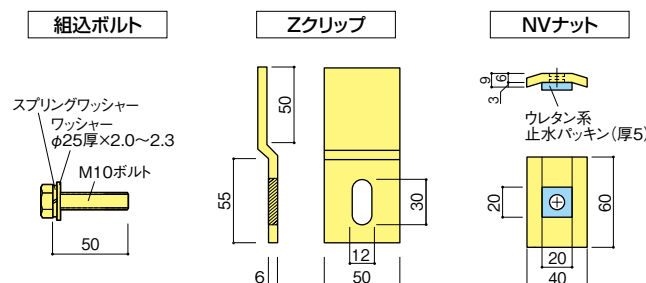
縦張りコーナー凹凸 15mm目地追加用 (JN5-100、JN5-010)

発注番号823:JN5-100(10m×10巻)
824:JN5-010(10m×1巻)

※剥離紙は「白」

※工場ガスケット貼りの場合のコーナー品との凹凸 15mm目地部に使用します。

Zクリップセット (防錆処理: 電気亜鉛メッキ)



発注番号	名 称	使用箇所	
		縦張工法	横張工法
850	電気亜鉛メッキ [H=5] Zクリップセット	パネル上部など	—
854	電気亜鉛メッキ [H=15] Zクリップセット	パネル下部など	パネル左右など
864	電気亜鉛メッキ [H=18] Zクリップセット	(CT鋼下部)	—
856	電気亜鉛メッキ [H=20] Zクリップセット	開口上部	—

※Zクリップセットは、Zクリップ 1個、組込ボルト 1本、NVナット 1個がセット。

横張工法 横 10mm目地用ガスケット (NS10-255、NS10-015)

発注番号551:NS10-255(15m×17本)
552:NS10-015(15m×1本)

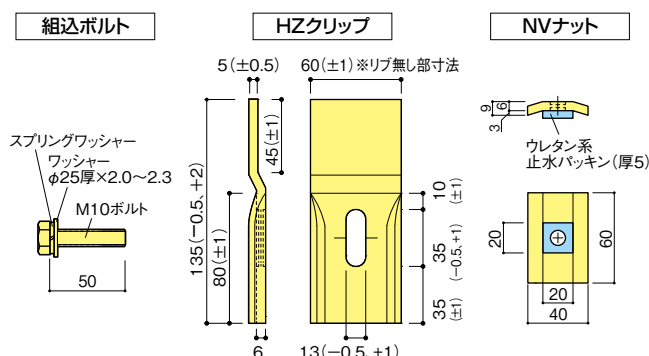
※剥離紙は「茶」

横張工法 縦 15mm目地用ガスケット (NST15-110、NST15-010)

発注番号559:NST15-110(10m×11本)
560:NST15-101(10m×1本)

※フィルム付

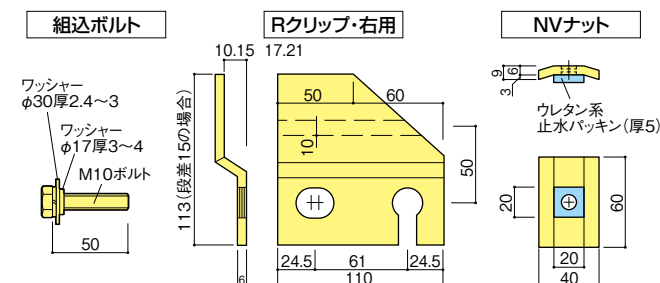
HZクリップセット (防錆処理: 電気亜鉛メッキ)



発注番号	名 称	使用箇所	
		縦張工法	横張工法
751	電気亜鉛メッキ [H=5] HZクリップセット	パネル上部など	—
755	電気亜鉛メッキ [H=15] HZクリップセット	パネル下部など	パネル左右など
757	電気亜鉛メッキ [H=18] HZクリップセット	(CT鋼下部)	—
759	電気亜鉛メッキ [H=20] HZクリップセット	開口上部	—

※HZクリップセットは、HZクリップ 1個、組込ボルト 1本、NVナット 1個がセット。

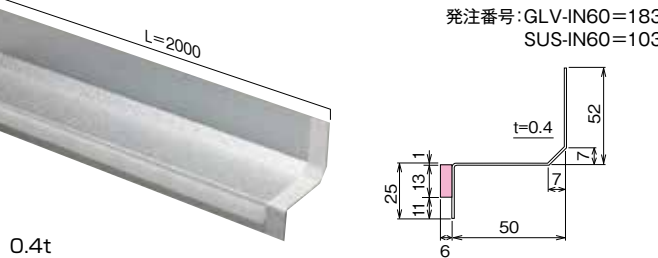
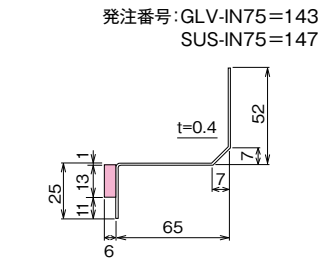
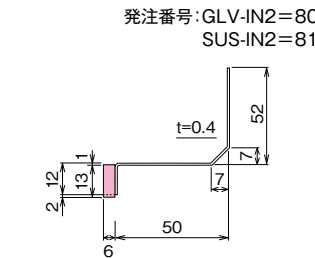
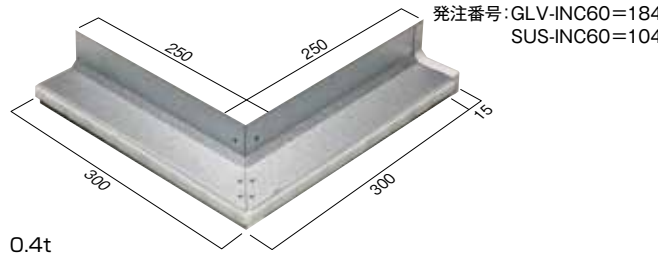
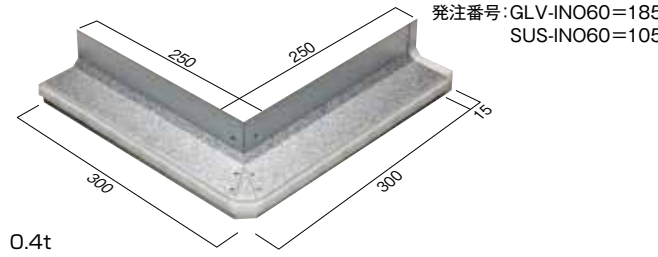
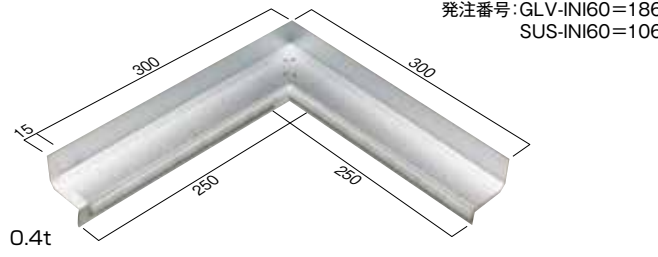
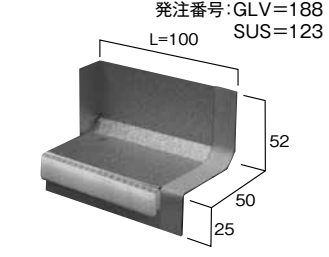
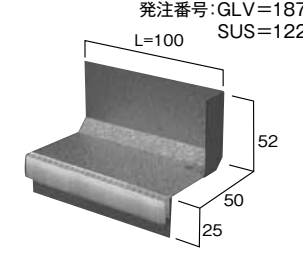
Rクリップセット (防錆処理: 電気亜鉛メッキ)



発注番号	名 称	使用箇所	
		縦張工法	横張工法
711	電気亜鉛メッキ [H=5] Rクリップセット	パネル上部	—
713	電気亜鉛メッキ [H=10] Rクリップセット	パネル上部など	—
715	電気亜鉛メッキ [H=15] Rクリップセット	パネル下部など	パネル左右など
716	電気亜鉛メッキ [H=17] Rクリップセット	(CT鋼下部)	—
718	電気亜鉛メッキ [H=21] Rクリップセット	開口上部	—

※Rクリップセットは、Rクリップ左右各 1個、組込ボルト 4本、NVナット 4個がセット。

副資材

ニューセフティ縦張り標準工法				ノンスリット工法			
60mm厚用		75mm厚用		60mm厚用			
内水切ストレート (GLV-IN、SUS-IN)		(GLV-IN75、SUS-IN75)		(GLV-IN2、SUS-IN2)			
 発注番号: GLV-IN60=183 SUS-IN60=103 0.4t		 発注番号: GLV-IN75=143 SUS-IN75=147		 発注番号: GLV-IN2=803 SUS-IN2=813			
内水切 出隅役物 AL コーナー用 (GLV-INC、SUS-INC)		(GLV-INC75、SUS-INC75)		(GLV-INC2、SUS-INC2)			
 発注番号: GLV-INC60=184 SUS-INC60=104 0.4t		発注番号: GLV-INC75=144 SUS-INC75=148 断面形状は上図のとおり		発注番号: GLV-INC2=804 SUS-INC2=814 断面形状は上図のとおり			
内水切 出隅役物 45度コーナー用 (GLV-INO、SUS-INO)		(GLV-INO75、SUS-INO75)		(GLV-INO2、SUS-INO2)			
 発注番号: GLV-INO60=185 SUS-INO60=105 0.4t		発注番号: GLV-INO75=145 SUS-INO75=149 断面形状は上図のとおり		発注番号: GLV-INO2=805 SUS-INO2=815 断面形状は上図のとおり			
内水切 入隅役物 (GLV-INI、SUS-INI)		(GLV-INI75、SUS-INI75)		(GLV-INI2、SUS-INI2)			
 発注番号: GLV-INI60=186 SUS-INI60=106 0.4t		発注番号: GLV-INI75=146 SUS-INI75=150 断面形状は上図のとおり		発注番号: GLV-INI2=806 SUS-INI2=816 断面形状は上図のとおり			
内水切 左端部 (GLV-INL、SUS-INL)		内水切 右端部 (GLV-INR、SUS-INR)		内水切左端部		内水切右端部	
 発注番号: GLV=188 SUS=123 L=100		 発注番号: GLV=187 SUS=122 L=100		GLV-INL75 SUS-INL75		GLV-INR75 SUS-INR75	
				GLV-INL2 SUS-INL2		GLV-INR2 SUS-INR2	
				発注番号: GLV=139 SUS=170		発注番号: GLV=138 SUS=169	
				断面形状は 上図のとおり		断面形状は 上図のとおり	
				断面形状は 上図のとおり		断面形状は 上図のとおり	
水抜きパイプストレート (SUS-PIC)		水抜きパイプストレート (SUS-PIS)		水抜きパイプL型 (SUS-PIL)		水抜きパイプT型 (EPDM)	
 発注番号: 830 (SUS 304、外径10mm) 逆流防止機能付き (L=20)		 発注番号: 120 (SUS 304、外径10mm) 逆流防止機能付き (L=40)		 発注番号: 121 (SUS 304、外径10mm) 逆流防止機能付き (L=30+23)		 発注番号: 831 (ブラック) 832 (グレー) 833 (ホワイト) EPDM08TB-831 EPDM08TG-832 EPDM08TW-833	

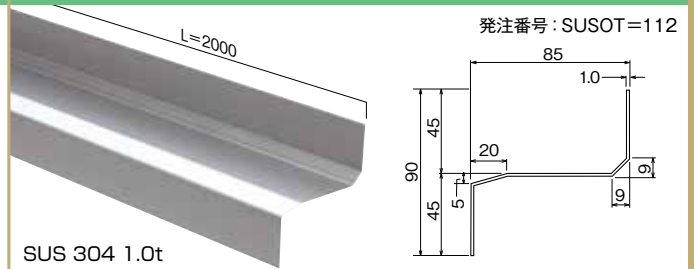
60mm厚用

窓上水切ストレート、下部内水切 ストレート(GLV-WU、SUS-WU)



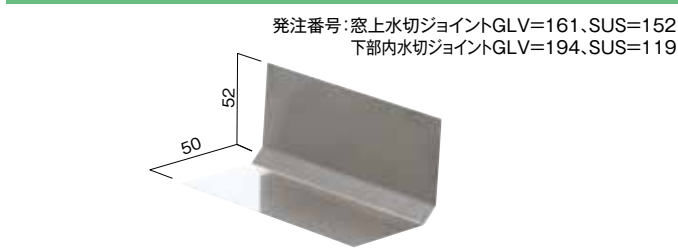
0.4t

外水切 ストレート(SUS-OT)



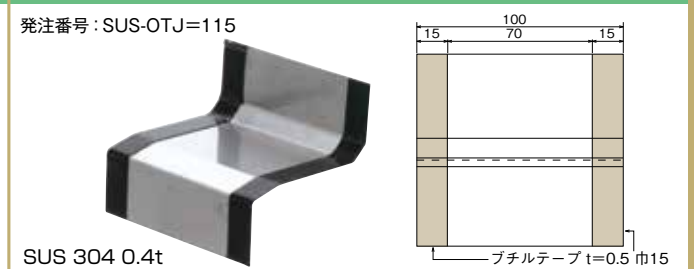
SUS 304 1.0t

窓上水切 ジョイント、下部内水切 ジョイント (GLV-WUJ、SUS-WUJ)



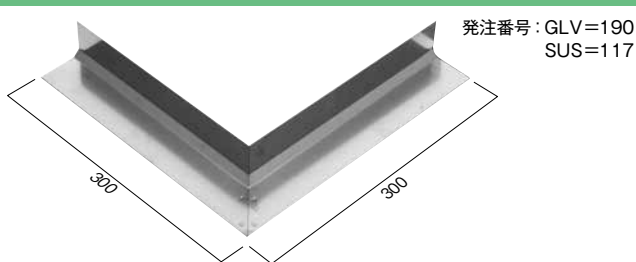
0.4t

水切ジョイント (SUS-OTJ)



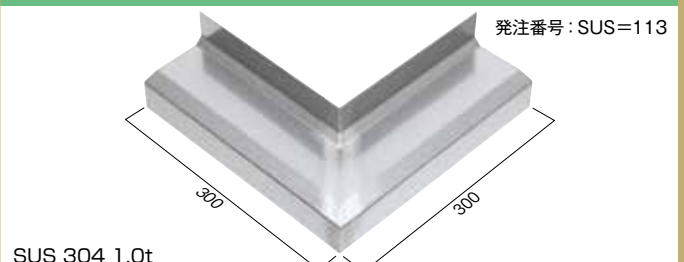
SUS 304 0.4t

下部内水切 出隅用 (GLV-WUO、SUS-WUO)



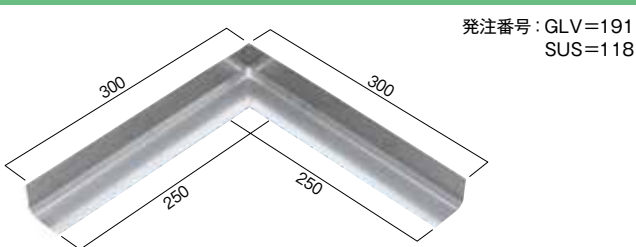
0.4t

外水切 出隅役物 (SUS-OTC)



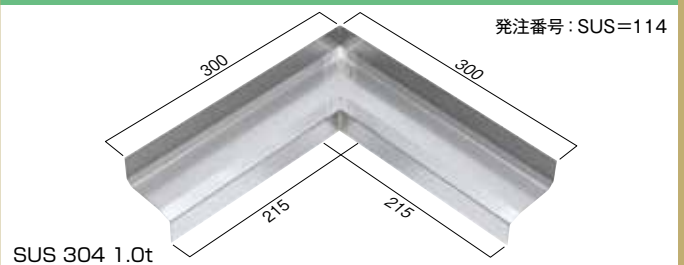
SUS 304 1.0t

下部内水切 入隅用 (GLV-WUI、SUS-WUI)



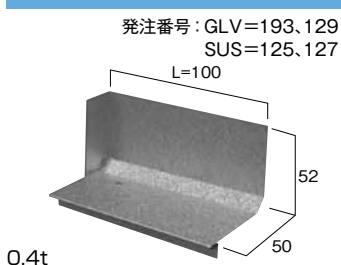
0.4t

外水切 入隅役物 (SUS-OTI)



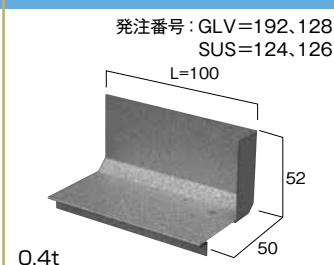
SUS 304 1.0t

縦張窓上水切 左役物 (GLV-WUL、SUS-WUL)



0.4t

縦張窓上水切 右役物 (GLV-WUR、SUS-WUR)

 $0.4t$

ニューカバーライト (N-40、N-50、N-1000)



※「NL26020」には「60N-40」×2、「60N-50」×6が必要。

横張窓上水切 左役物 (GLV-WLL、SUS-WLL)



0.4t

横張窓上水切 右役物 (GLV-WLR、SUS-WLR)

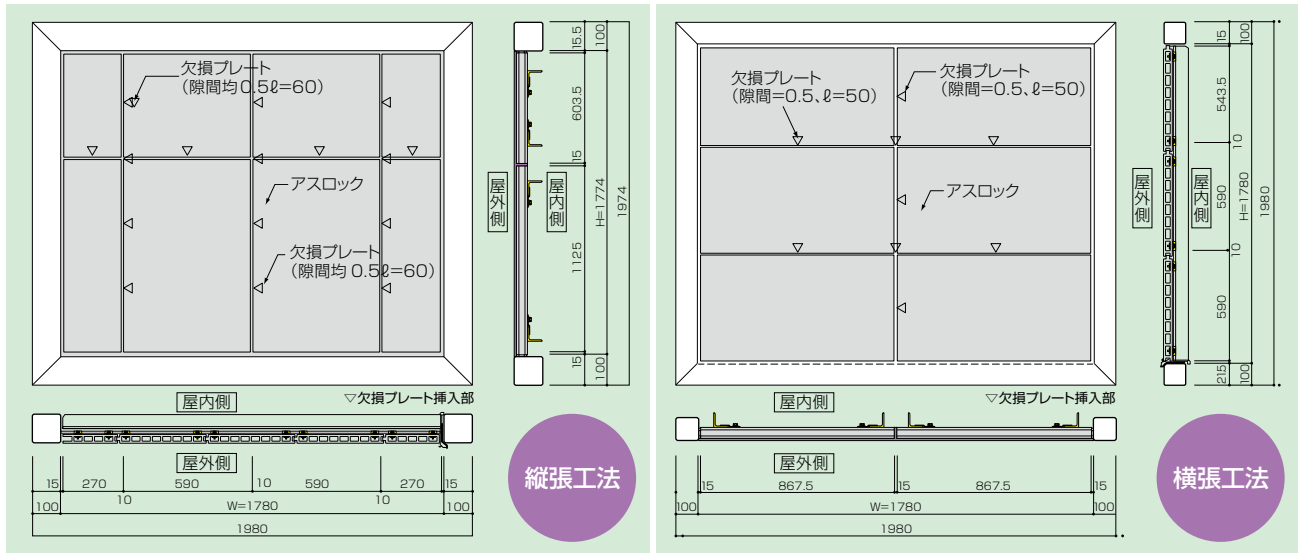


0.4t

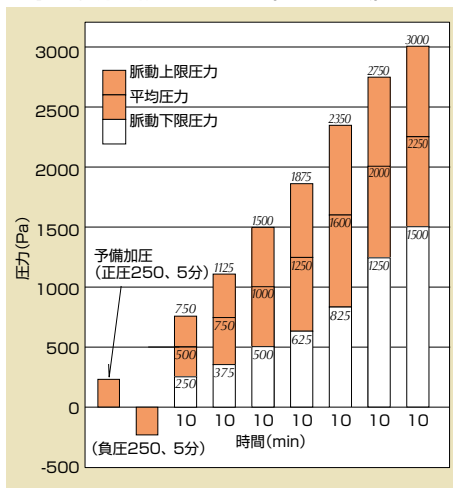
試験体 ニューセフティ縦張り標準工法、ニューセフティ横張り標準工法

試験方法 試験は、JIS A1414「水密試験」に準じて行った。シーリングの劣化を想定してシーリング部に欠損プレートを挿入し（目地全長の5%以上かつ幅0.5mmのすき間に相当する割合の欠損）、試験体に4ℓ/min・㎡の水を噴霧しながら室内側への漏水状況を観察した。

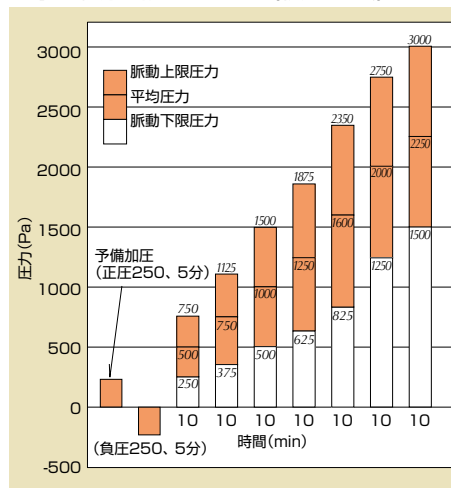
試験機関 (一般財団法人) 建材試験センター



■水密試験加圧プロセス(縦張工法)



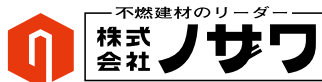
■水密試験加圧プロセス(横張工法)



■試験結果

脈動 下限圧力	平均圧力 (Pa)	脈動 上限圧力	漏水状況
250	500	750	漏水なし
375	750	1125	漏水なし
500	1000	1500	漏水なし
625	1250	1875	漏水なし
825	1600	2350	漏水なし
1250	2000	2750	漏水なし
1500	2250	3000	漏水なし

※水密性能値は試験結果であり、性能を保証するものではありません。



ノザワホームページアドレス
<http://www.nozawa-kobe.co.jp>



アスロックホームページアドレス
<http://www.asloc.co.jp>



札幌支店 〒060-0042
仙台支店 〒980-0811
東京支店 〒104-0033
名古屋支店 〒460-0003
北陸営業所 〒920-0853
関西支店 〒650-0035
広島支店 〒730-0041
松山営業所 〒790-0067
九州支店 〒812-0011

札幌市中央区大通西1丁目14番2(桂和大通ビル)
仙台市青葉区一番町2丁目8番15号(太陽生命仙台ビル)
東京都中央区新川一丁目4番1号(住友不動産六甲ビル)
名古屋市中区錦2丁目4番15号(ORE錦二丁目ビル)
金沢市本町1丁目5番1号(リファール)
神戸市中央区浪花町15番地
広島市中区小町3番25号(三共広島ビル)
松山市大手町2丁目9番地4(石丸ビル)
福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号(JPR博多ビル)

☎ 011-261-8291 FAX 011-207-6380
☎ 022-225-7986 FAX 022-217-3734
☎ 03-5540-6711 FAX 03-5540-6712
☎ 052-202-8200 FAX 052-202-8202
☎ 076-260-1135 FAX 076-260-1255
☎ 078-391-1651 FAX 078-333-4143
☎ 082-245-3257 FAX 082-504-0368
☎ 089-933-5828 FAX 089-933-5834
☎ 092-474-0868 FAX 092-437-2626

技術研究所 〒366-0812
埼玉工場 〒355-0156
播州工場 〒675-0163
高砂工場 〒676-0073
フラノ事業所 〒079-1563

埼玉県深谷市折之口1851番地4
埼玉県比企郡吉見町長谷1947番地(長谷工業団地内)
兵庫県加古郡播磨町古宮
兵庫県高砂市高須1番1号
北海道富良野市山部東町4番1号

☎ 048-574-1937 FAX 048-574-1932
☎ 0493-54-6411 FAX 0493-53-1102
☎ 078-942-1024 FAX 078-949-2131
☎ 079-447-0081 FAX 079-449-2041
☎ 0167-42-2231 FAX 0167-42-2473

本社 〒650-0035
ショールーム 〒650-0035

神戸市中央区浪花町15番地
神戸市中央区浪花町15番地

☎ 078-333-4111 FAX 078-393-7019
☎ 078-333-7700